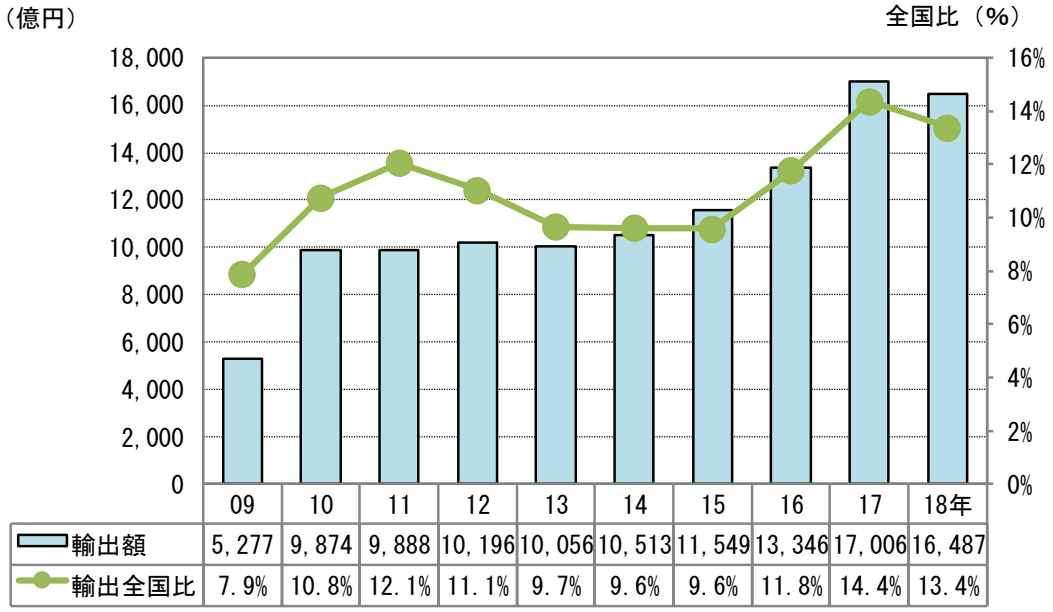
第３部　分野別に見た九州の主要産業

第１章　自動車・自動車の部分品

●2018 年の九州の自動車輸出額は、１兆６，４８７億円（前年比 3.1%減）
→　前年より減少し、５年ぶりの減少。
　　輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦、韓国
●2018 年の九州の自動車生産台数は、１４３万台（前年比 2.6%増）
→　日本全体の生産台数（９７３万台）の１４．７％

図表 3-1-1　九州の自動車輸出額の推移



図表 3-1-2　自動車の主な輸出相手国・地域の推移（2013 年・2018 年）

（単位：億円、%）

2013年	金額	構成比	2018年	金額	構成比
全国			**全国**		
米国	37,443	36.0%	米国	45,241	36.8%
オーストラリア	7,484	7.2%	オーストラリア	8,505	6.9%
ロシア	5,864	5.6%	中国	6,377	5.2%
中国	5,219	5.0%	アラブ首長国連邦	5,440	4.4%
アラブ首長国連邦	4,117	4.0%	カナダ	3,966	3.2%
その他	43,998	42.3%	その他	53,542	43.5%
計	104,125	100.0%	計	123,072	100.0%
九州			**九州**		
米国	3,772	37.5%	中国	4,906	29.8%
中国	2,654	26.4%	米国	4,508	27.3%
アラブ首長国連邦	773	7.7%	アラブ首長国連邦	1,962	11.9%
台湾	338	3.4%	韓国	619	3.8%
メキシコ	314	3.1%	台湾	589	3.6%
その他	2,206	21.9%	その他	3,903	23.7%
計	10,056	100.0%	計	16,487	100.0%

図表 3-1-1～2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

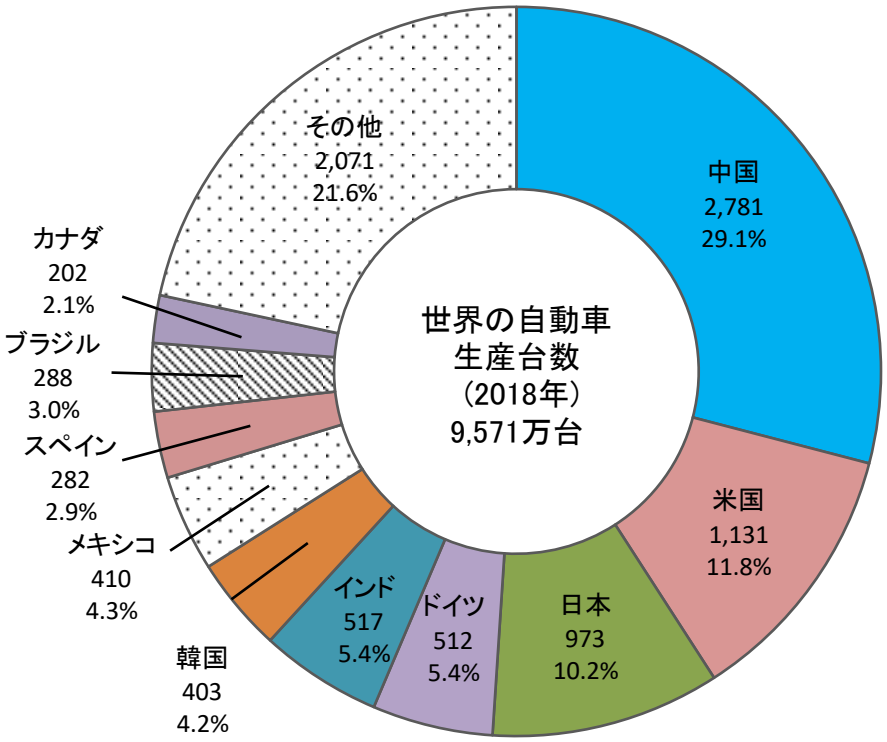
図表 3-1-3　世界の自動車生産台数

（単位：万台、%）

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	構成比	伸び率	13年比
ヨーロッパ	1,992	2,043	2,117	2,149	2,163	2,133	22.3%	▲1.4%	7.1%
米　州	2,113	2,122	2,096	2,082	2,071	2,080	21.7%	0.4%	▲1.6%
アジア大洋州	4,582	4,740	4,788	5,185	5,340	5,245	54.8%	▲1.8%	14.5%
日　本	963	977	928	920	969	973	10.2%	0.4%	1.0%
九　州	134	130	135	135	139	143	1.5%	2.6%	6.4%
中　国	2,212	2,373	2,457	2,812	2,902	2,781	29.1%	▲4.2%	25.7%
韓　国	452	452	456	423	411	403	4.2%	▲2.1%	▲10.9%
インド	390	384	416	452	479	517	5.4%	8.0%	32.7%
タ　イ	246	188	191	194	199	217	2.3%	9.0%	▲11.8%
その他	319	365	341	383	379	354	3.7%	▲6.7%	10.9%
アフリカ	64	72	84	90	100	112	1.2%	12.0%	76.5%
世界計	8,751	8,978	9,084	9,506	9,675	9,571	100.0%	▲1.1%	9.4%

図表 3-1-4　世界の自動車生産台数の国・地域別構成比

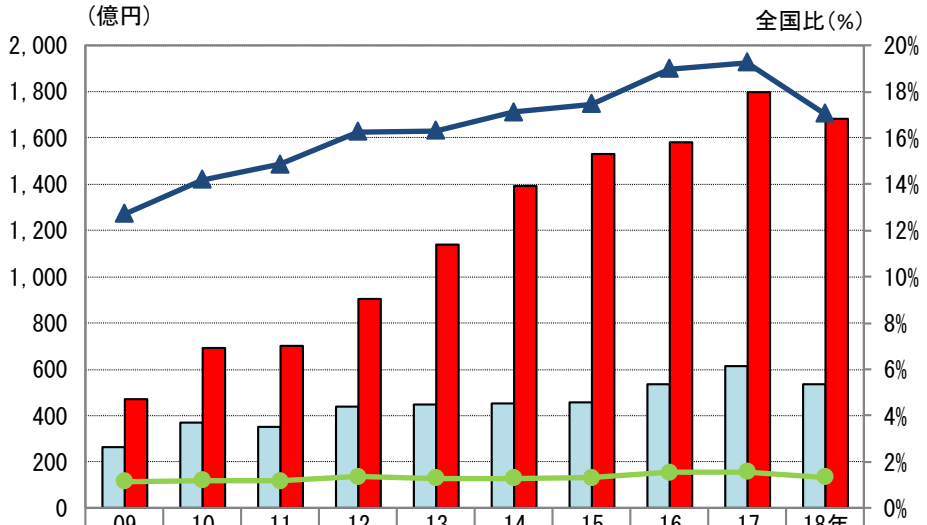
（単位：万台、%）



図表 3-1-3～4 出所：国際自動車工業連合会ＨＰ、九州経済産業局資料より九州経済産業局作成。

●2018 年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出が５３４億円（前年比 12.9%減）
→　前年より減少し、7 年ぶりの減少。一方、輸入も 1,681 億円（前年比 6.5%減）で前年より減少し、直近 10 年間で、初めての前年比減。
●九州の輸出相手国・地域では、米国が最も多く、次いでロシア、カナダ
●九州の輸入相手国・地域では、中国が最も多く、次いでメキシコ、韓国

図表 3-1-5　九州の自動車の部分品貿易額の推移



	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	266	372	353	438	450	452	457	536	613	534
輸入額	470	693	701	903	1,139	1,395	1,531	1,582	1,797	1,681
輸出全国比	1.2%	1.2%	1.2%	1.4%	1.3%	1.3%	1.3%	1.5%	1.6%	1.3%
輸入全国比	12.7%	14.2%	14.9%	16.3%	16.3%	17.1%	17.5%	19.0%	19.3%	17.0%

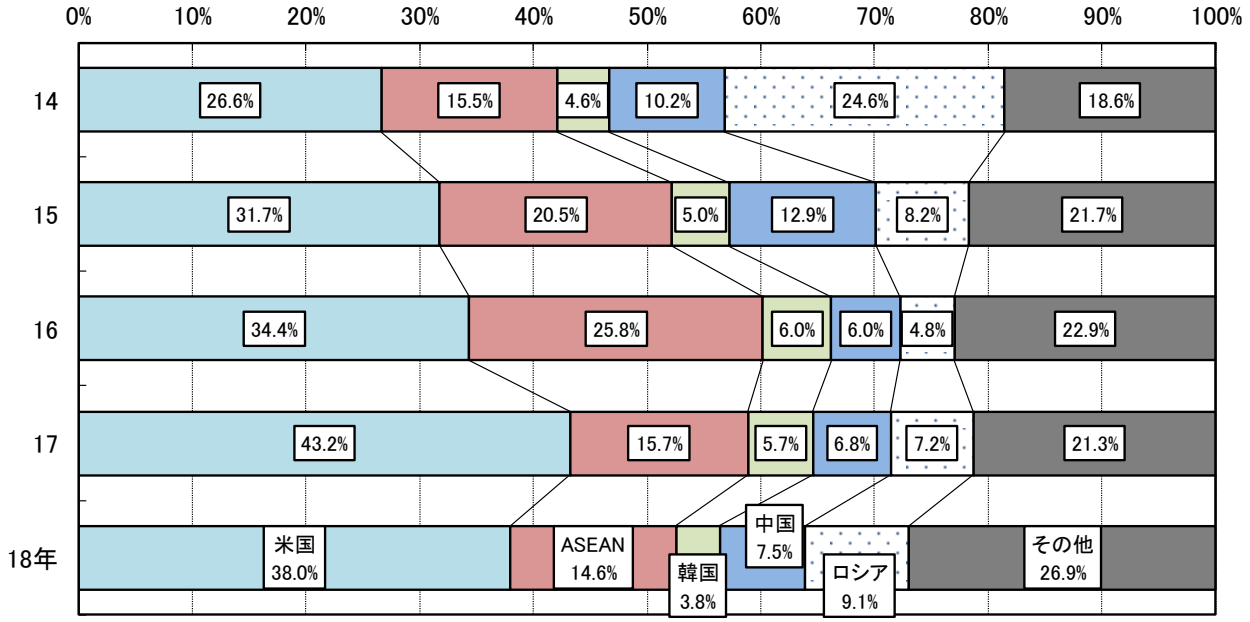
図表 3-1-6　自動車の部分品の主な輸出入相手国・地域（2018 年）

（単位：億円、%）

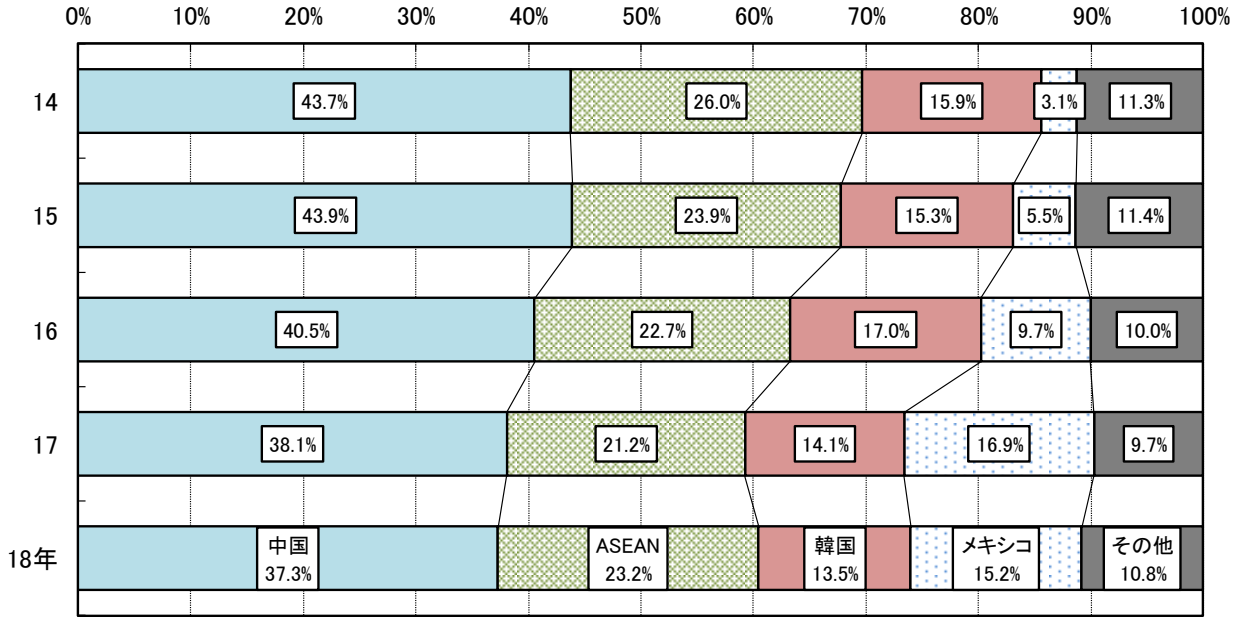
輸出	金額	構成比	輸入	金額	構成比
全国			**全国**		
米国	9,295	23.3%	中国	3,526	35.8%
中国	8,689	21.8%	タイ	1,015	10.3%
タイ	3,034	7.6%	ドイツ	811	8.2%
インドネシア	2,190	5.5%	韓国	786	8.0%
メキシコ	2,072	5.2%	米国	700	7.1%
その他	14,630	36.7%	その他	3,024	30.7%
計	39,909	100.0%	計	9,861	100.0%
九州			**九州**		
米国	203	38.0%	中国	627	37.3%
ロシア	49	9.1%	メキシコ	255	15.2%
カナダ	46	8.6%	韓国	227	13.5%
マレーシア	42	7.9%	タイ	193	11.5%
中国	40	7.5%	インドネシア	83	4.9%
その他	154	28.9%	その他	297	17.7%
計	534	100.0%	計	1,681	100.0%

図表 3-1-5～6 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-1-7　九州の自動車の部分品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-1-8　九州の自動車の部分品の輸入相手国・地域の推移

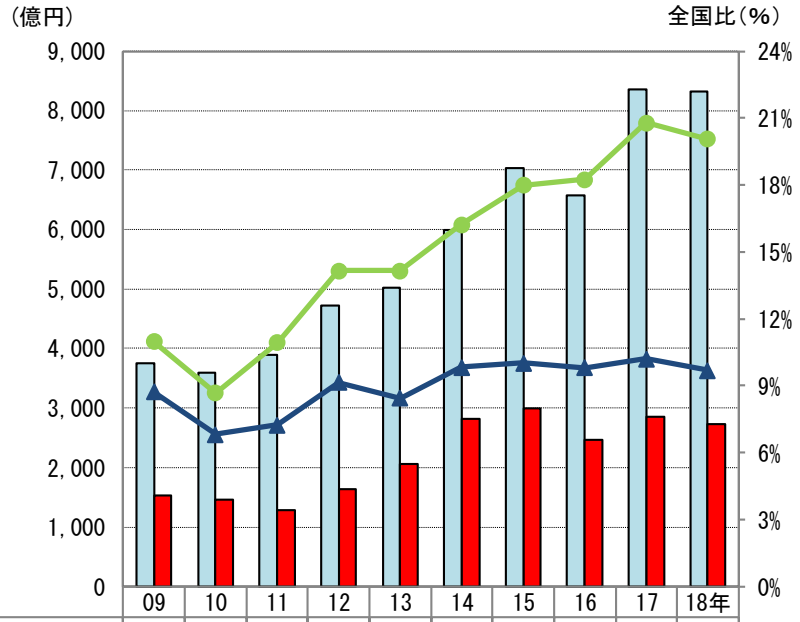


図表 3-1-7～8 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第２章　半導体等電子部品

●2018 年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が８，３２７億円（前年比 0.4%減）で前年より減少。
　一方、輸入も２，７３１億円（前年比 4.3%減）で前年より減少。
●九州の輸出相手国・地域では、香港向けが最も多く、次いで韓国、ベトナム
●九州の輸入相手国・地域では、台湾からが最も多く、次いで中国、韓国

図表 3-2-1　九州の半導体等電子部品貿易額の推移



	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	3,756	3,600	3,898	4,730	5,030	5,989	7,039	6,581	8,360	8,327
輸入額	1,533	1,454	1,277	1,628	2,066	2,820	3,000	2,466	2,855	2,731
輸出全国比	11.0%	8.7%	10.9%	14.2%	14.2%	16.2%	18.0%	18.2%	20.8%	20.1%
輸入全国比	8.7%	6.8%	7.2%	9.2%	8.4%	9.8%	10.0%	9.8%	10.2%	9.7%

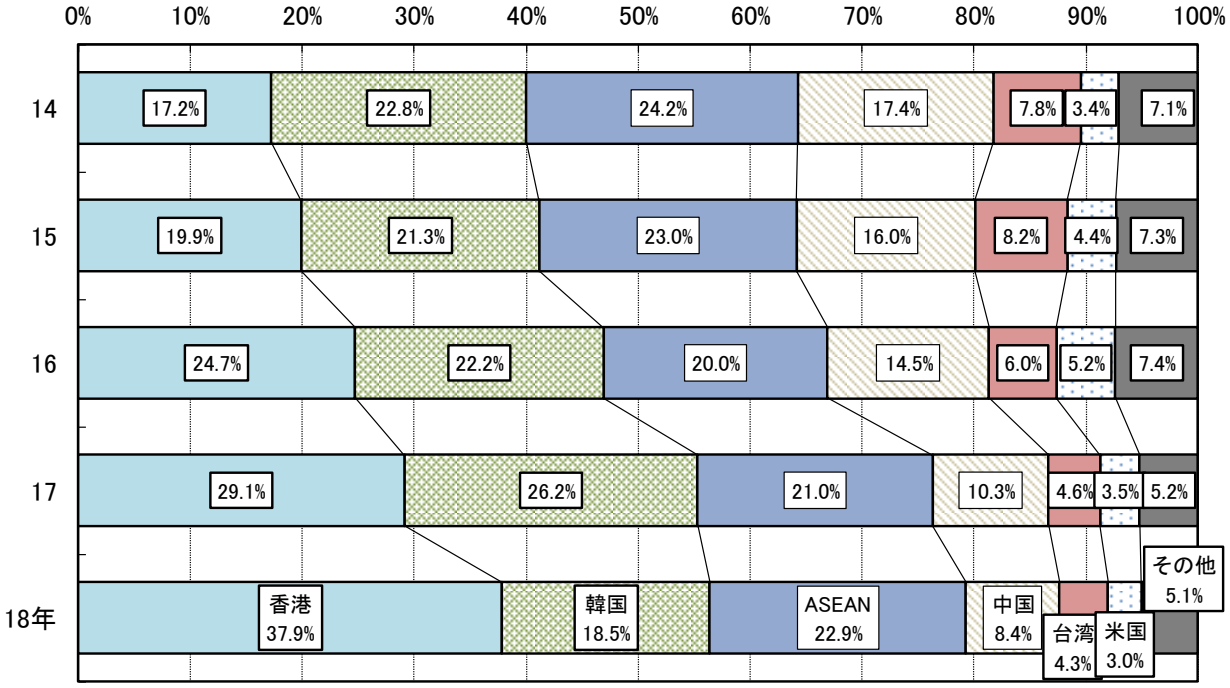
図表 3-2-2　半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域（2018 年）

（単位：億円、%）

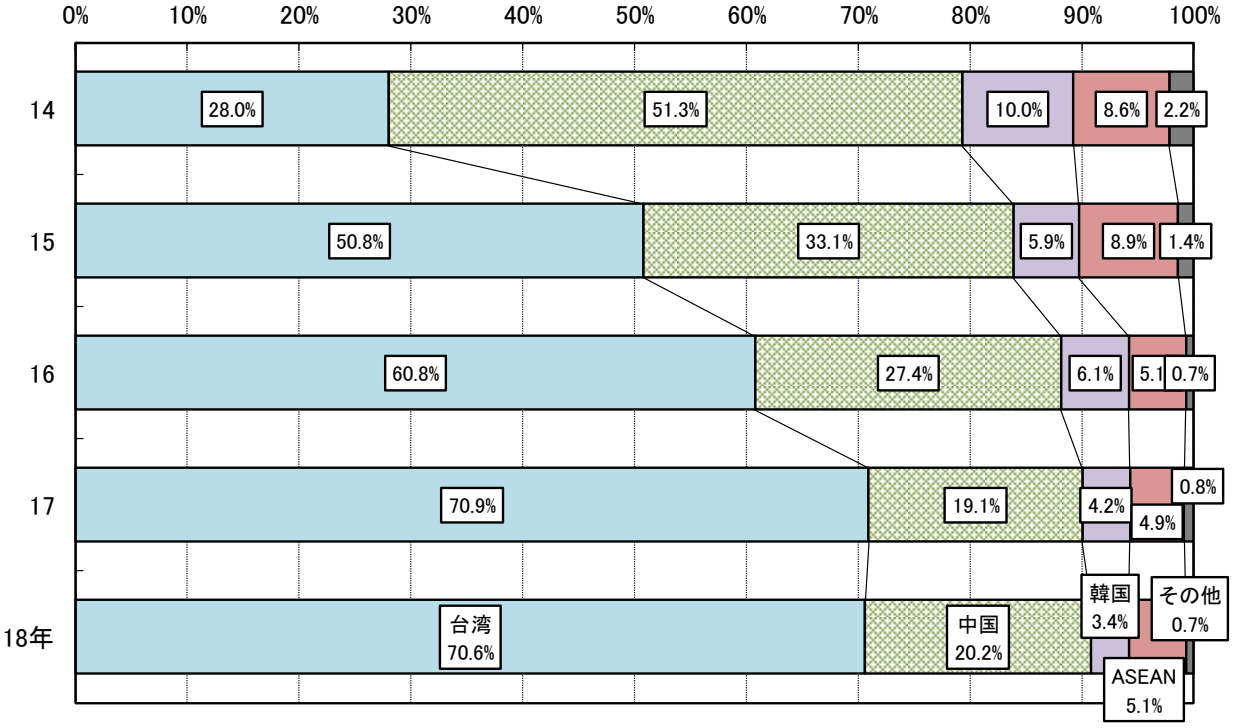
輸出	金額	構成比	輸入	金額	構成比
全国			**全国**		
中国	10,971	26.4%	台湾	11,708	41.6%
台湾	7,117	17.1%	中国	5,029	17.9%
香港	6,660	16.0%	米国	2,996	10.6%
韓国	2,565	6.2%	韓国	2,468	8.8%
タイ	2,365	5.7%	マレーシア	1,559	5.5%
その他	11,824	28.5%	その他	4,405	15.6%
計	41,502	100.0%	計	28,165	100.0%
九州			**九州**		
香港	3,152	37.9%	台湾	1,928	70.6%
韓国	1,543	18.5%	中国	551	20.2%
ベトナム	1,119	13.4%	韓国	93	3.4%
中国	696	8.4%	マレーシア	52	1.9%
タイ	417	5.0%	フィリピン	37	1.4%
その他	1,400	16.8%	その他	70	2.6%
計	8,327	100.0%	計	2,731	100.0%

図表 3-2-1～2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-2-3　九州の半導体等電子部品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-2-4　九州の半導体等電子部品の輸入相手国・地域の推移

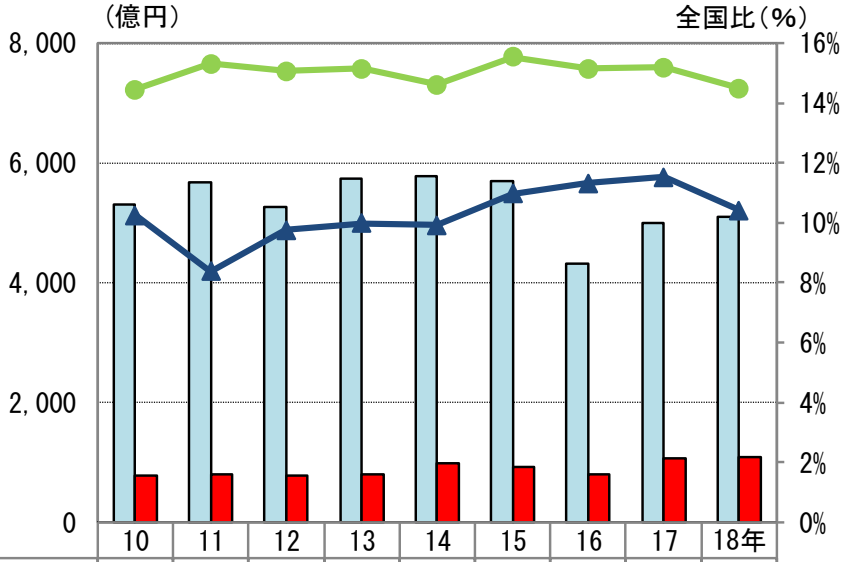


図表 3-2-3～4 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

第３章　鉄鋼

●2018 年の九州の鉄鋼貿易額は、輸出額５，１０４億円（前年比 2.3%増）、
　輸入額１，０９０億円（前年比 2.7%増）　→　いずれも２年連続の増加
●輸出先はタイが最も多く、次いで中国、韓国
　輸入元は韓国が最も多く、次いで中国、カザフスタン
●2018 年の九州の粗鋼生産量は１５百万トン
　→　日本全体の生産量（１０４百万トン）の１４．５％

図表 3-3-1　九州の鉄鋼貿易額の推移



	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	5,311	5,682	5,267	5,745	5,787	5,701	4,312	4,990	5,104
輸入額	780	790	786	800	979	926	800	1,061	1,090
輸出全国比	14.4%	15.3%	15.1%	15.1%	14.6%	15.5%	15.2%	15.2%	14.5%
輸入全国比	10.2%	8.4%	9.8%	10.0%	9.9%	11.0%	11.3%	11.5%	10.4%

図表 3-3-2　鉄鋼の主な輸出入相手国・地域（2018 年）

（単位：億円、%）

輸出	金額	構成比	輸入	金額	構成比
全国			**全国**		
中国	5,616	16.3%	韓国	3,383	33.2%
タイ	5,047	14.7%	中国	1,939	19.0%
韓国	4,551	13.2%	台湾	946	9.3%
台湾	2,338	6.8%	カザフスタン	702	6.9%
米国	2,039	5.9%	南アフリカ共和国	466	4.6%
その他	14,821	43.1%	その他	2,752	27.0%
計	34,412	100.0%	計	10,188	100.0%
九州			**九州**		
タイ	955	18.7%	韓国	396	36.3%
中国	679	13.3%	中国	136	12.4%
韓国	621	12.2%	カザフスタン	119	11.0%
メキシコ	298	5.8%	南アフリカ共和国	119	10.9%
インド	289	5.7%	ブラジル	81	7.4%
その他	2,261	44.3%	その他	240	22.0%
計	5,104	100.0%	計	1,090	100.0%

図表 3-3-1～2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-3-3　主要国の粗鋼生産量

（単位：百万トン、%）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	構成比
中国	822	804	808	831	928	51.3%
EU	169	166	162	168	168	9.3%
日　本	111	105	105	105	104	5.8%
うち九 州	16	16	16	15	15	0.8%
インド	87	89	95	101	106	5.9%
米国	88	79	78	82	87	4.8%
ロシア	71	91	71	71	72	4.0%
韓国	72	70	69	71	72	4.0%
トルコ	34	32	33	38	37	2.1%
ブラジル	34	33	31	34	35	1.9%
その他	181	152	176	228	199	11.0%
世 界 計	1,669	1,620	1,628	1,730	1,809	100.0%

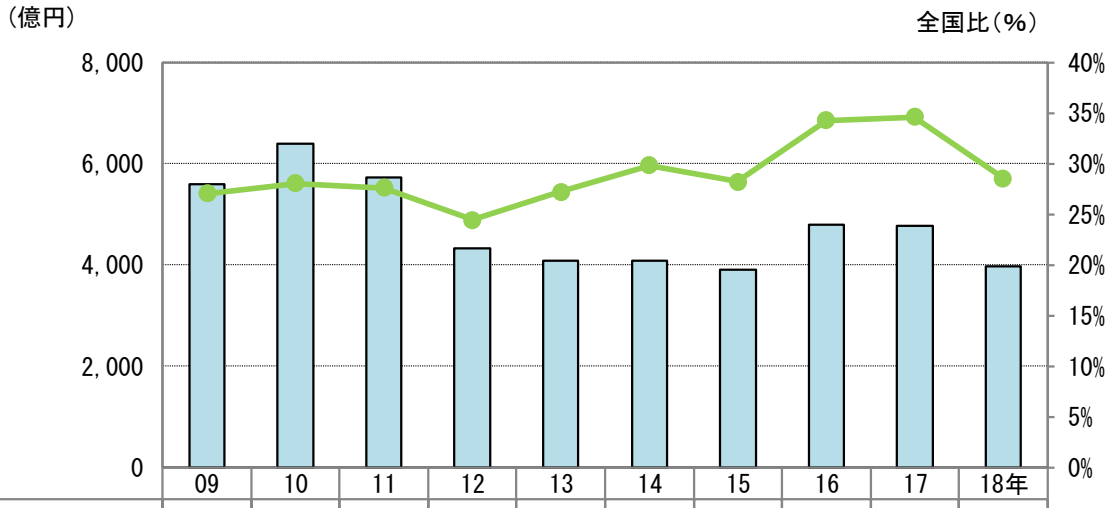
備考：ＥＵはクロアチアを除く 27 カ国の計

出所：（一社）日本鉄鋼連盟資料より九州経済産業局作成。

第４章　船舶類

●2018 年の九州の船舶類輸出額は３，９７５億円（前年比 16.7%減）で前年より減少。
　輸出先はパナマが最も多く、次いでバハマ、マーシャル
●九州の船舶類輸出額は全国の（１３，９２７億円）の２８．５％
　→　船舶類は、九州の主力輸出品目の一つ

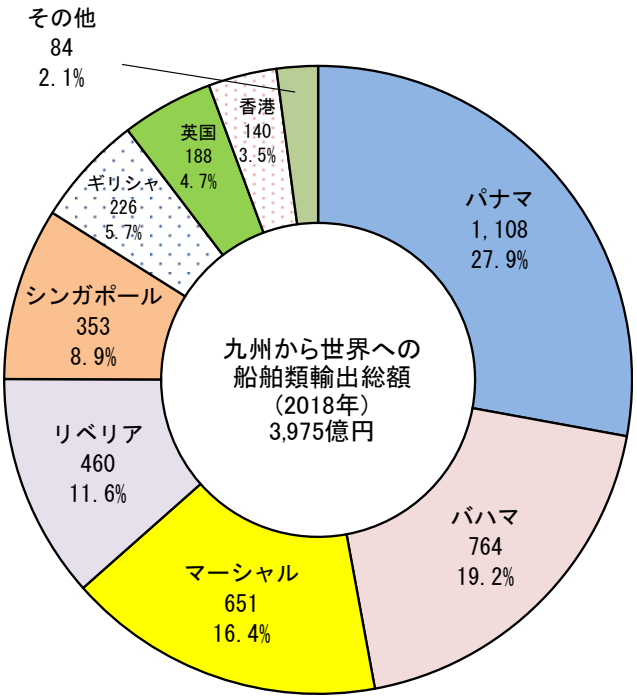
図表 3-4-1　九州の船舶類の輸出額推移



	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	5,605	6,393	5,731	4,335	4,085	4,081	3,894	4,795	4,771	3,975
輸出全国比	27.1%	28.0%	27.6%	24.4%	27.2%	29.8%	28.2%	34.3%	34.6%	28.5%

図表 3-4-2　九州の船舶類の輸出相手国・地域

（単位：億円、%）

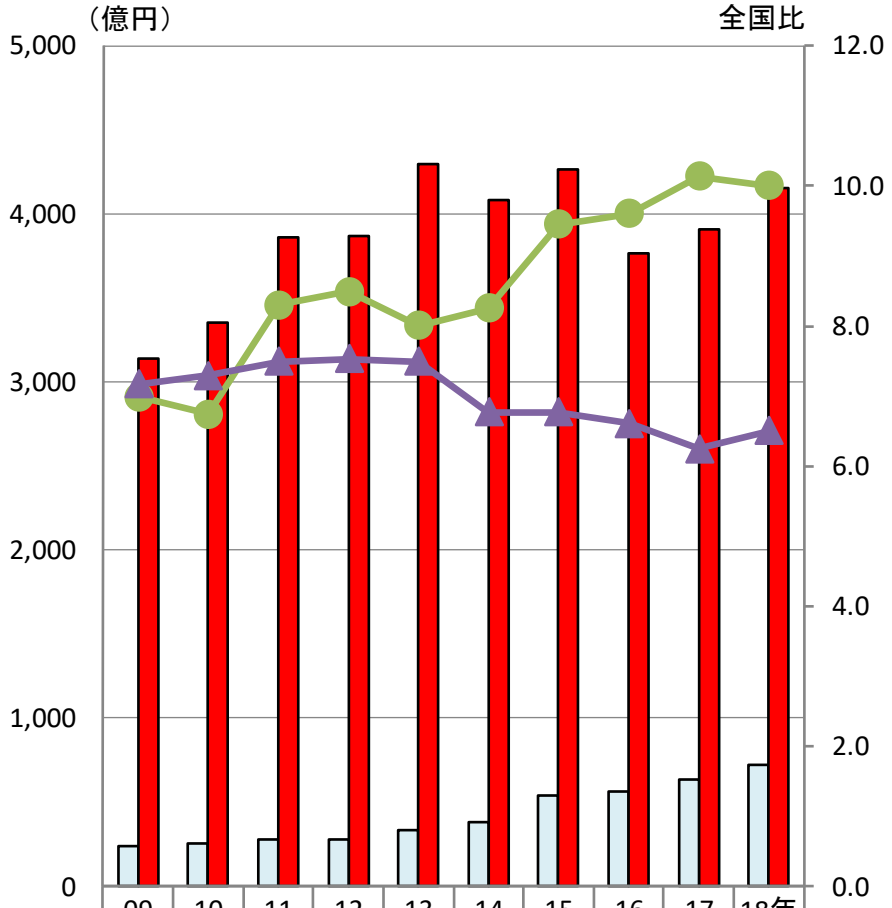


図表 3-4-1～2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第５章　食料品

●2018 年の九州の食料品貿易額は、輸出額７２３億円（前年比 13.4%増）、
輸入額４，１５６億円（前年比 6.4%増）
→　輸出は 2009 年より毎年の増加、輸入は２年連続の増加。貿易収支は大幅な輸入超過が続く。
●輸出はアジアや米国向けが多く、品目としては魚介類及び同調製品が 5 割近くを占めた。
輸入は北米やアジアのほか、中南米や大洋州など、より多様な国々との取引となっており、
品目としては穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品が多い。

図表 3-5-1　九州の食料品貿易額の推移

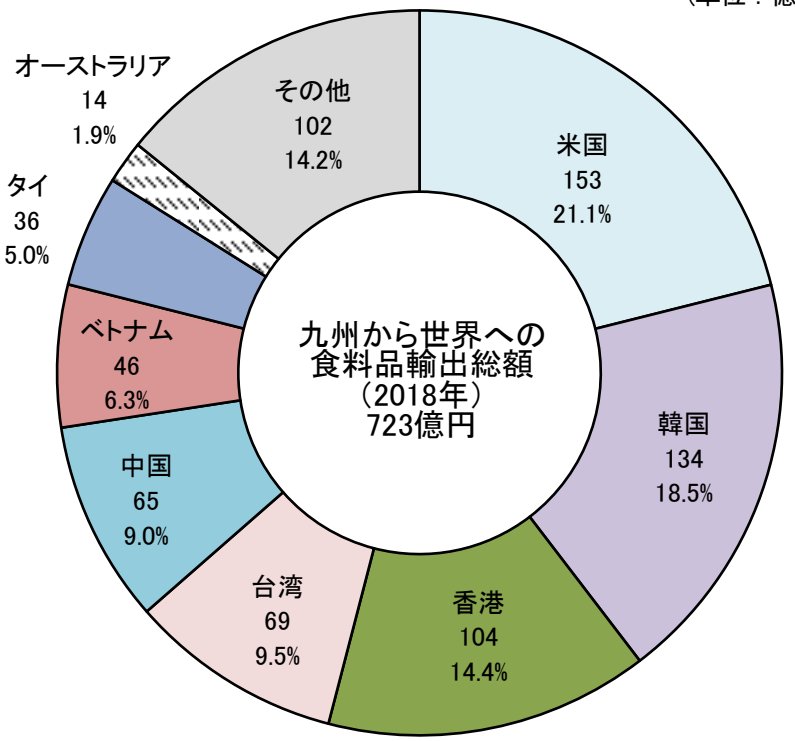


	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	236	254	275	280	331	383	540	562	638	723
輸入額	3,142	3,350	3,860	3,872	4,299	4,084	4,262	3,766	3,906	4,156
輸出全国比	7.0	6.7	8.3	8.5	8.0	8.3	9.4	9.6	10.1	10.0
輸入全国比	7.2	7.3	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.2	6.5

備考：「食料品」とは、「食料品及び動物（大分類）」、「飲料（中分類）」、「動植物性油脂（大分類）」を足したものから、「生きた動物（中分類）」、「飼料（中分類）」、「加工油脂及びろう（中分類）」を差し引いたものとする。
出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

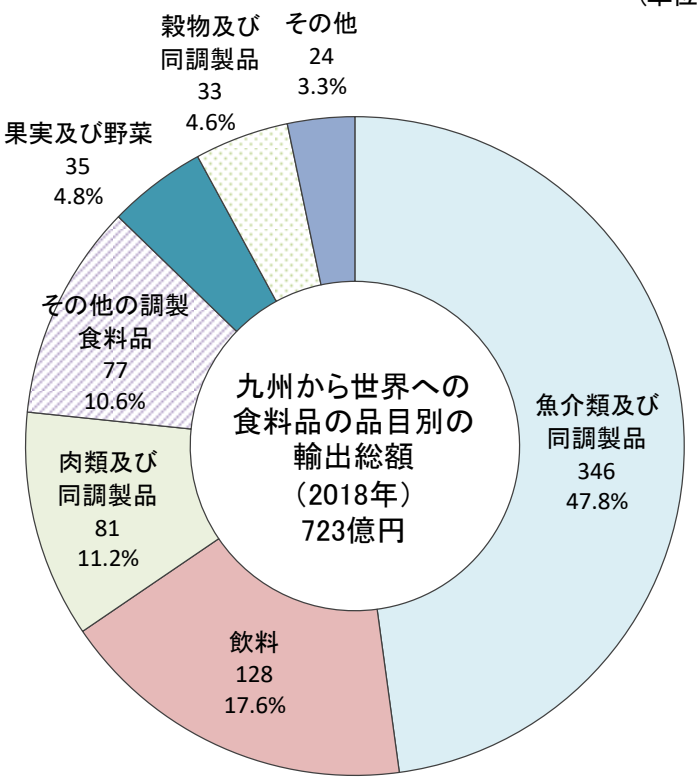
図表 3-5-2　九州の食料品の国・地域別輸出額

（単位：億円、%）



図表 3-5-3　九州の食料品の品目別輸出額

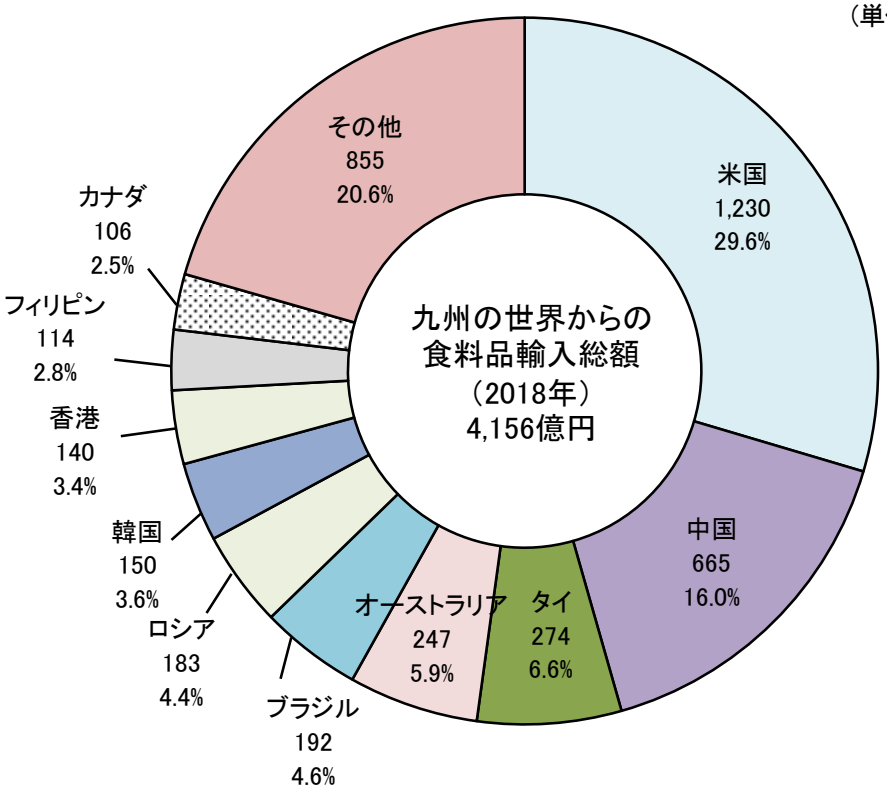
（単位：億円、%）



図表 3-5-2～3 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

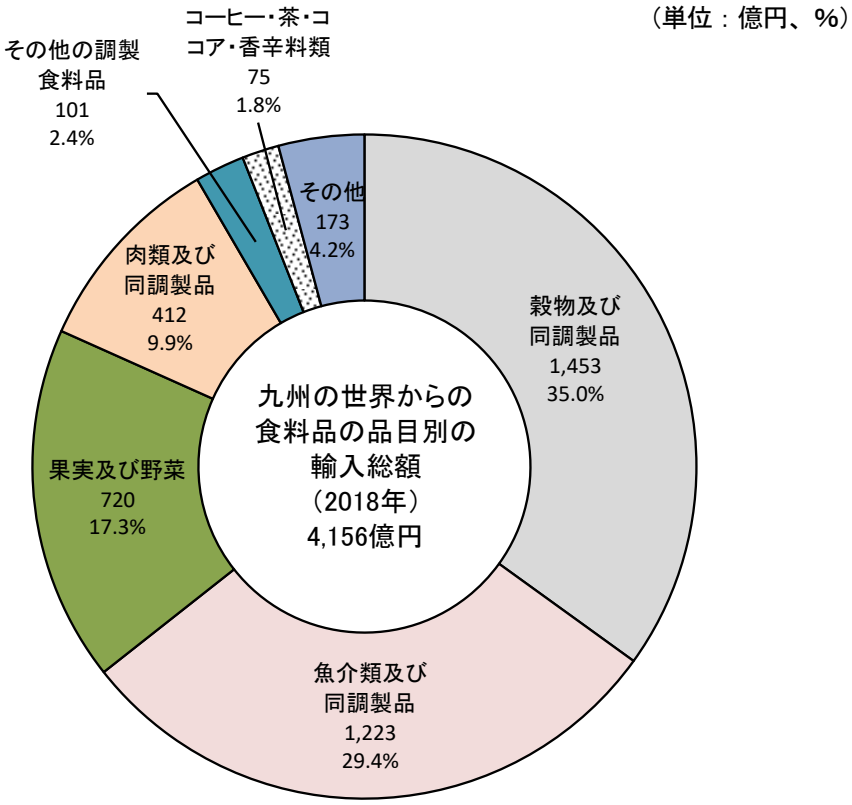
図表 3-5-4　九州の食料品の国・地域別輸入額

（単位：億円、%）



図表 3-5-5　九州の食料品の品目別輸入額

（単位：億円、%）



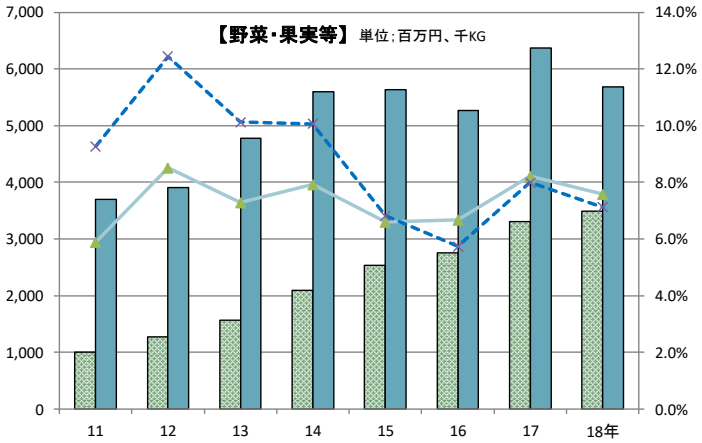
図表 3-5-4～5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

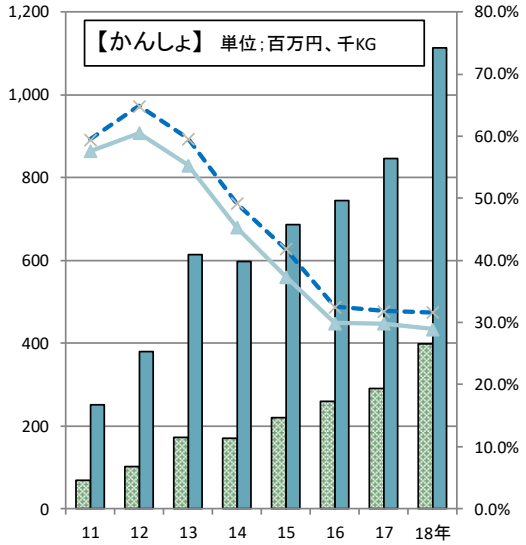
第６章　農林水産物及び加工品

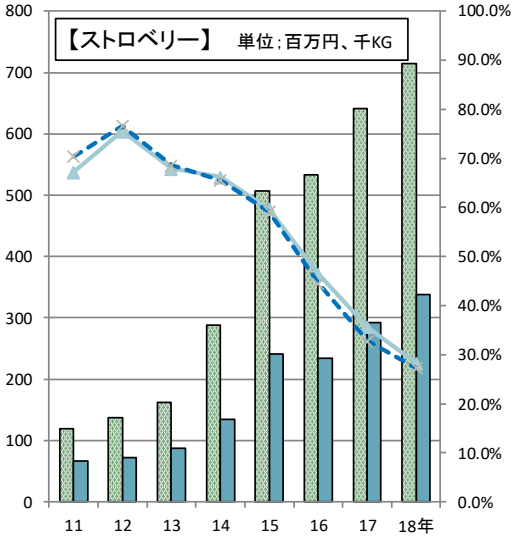
●近年、各種農林水産物の輸出額及び輸出数量が伸びており、さまざまな国に輸出されている。主要な農林水産物について、輸出動向は以下のとおり。

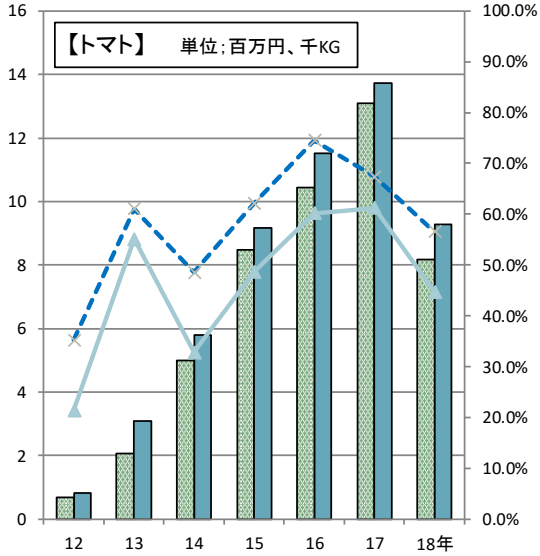
図表 3-6-1　九州の主要な農林水産物の輸出額・数量推移

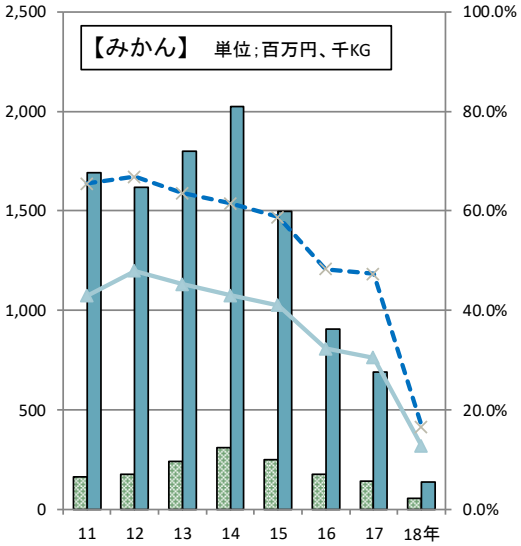
①　野菜・果物等

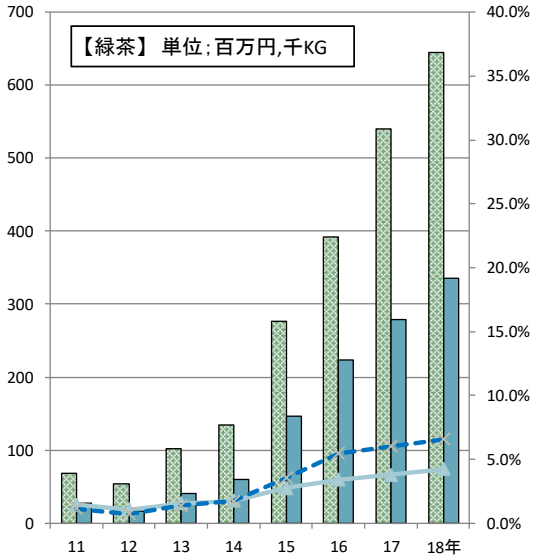


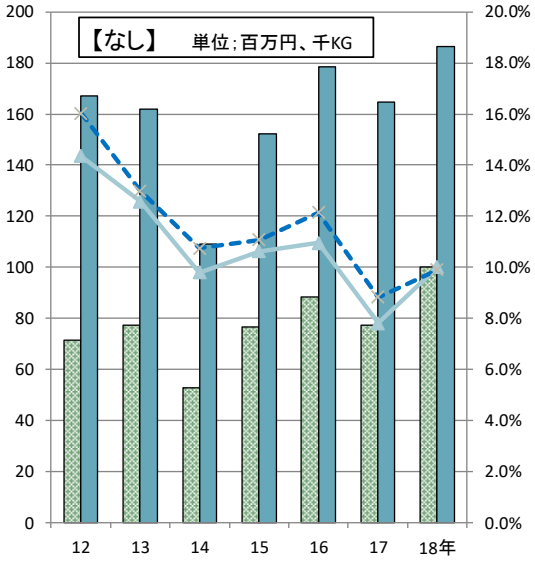












参考

野菜等の輸出に際し、最も重要な貯蔵条件は、品目によりそれぞれ異なっており、水分の多い野菜は貯蔵日数が短く、根菜類は長い傾向にある。

品目	貯蔵最適温度(℃)	貯蔵限界(目安)
サツマイモ	13～15	4～7月
イチゴ	0	7～10日
トマト(完熟)	8～10	1～3週間
トマト(緑熟)	10～13	2～5週間
メロン(ネットメロン)	2～5	2～3週間
メロン(その他)	7～10	3～4週間

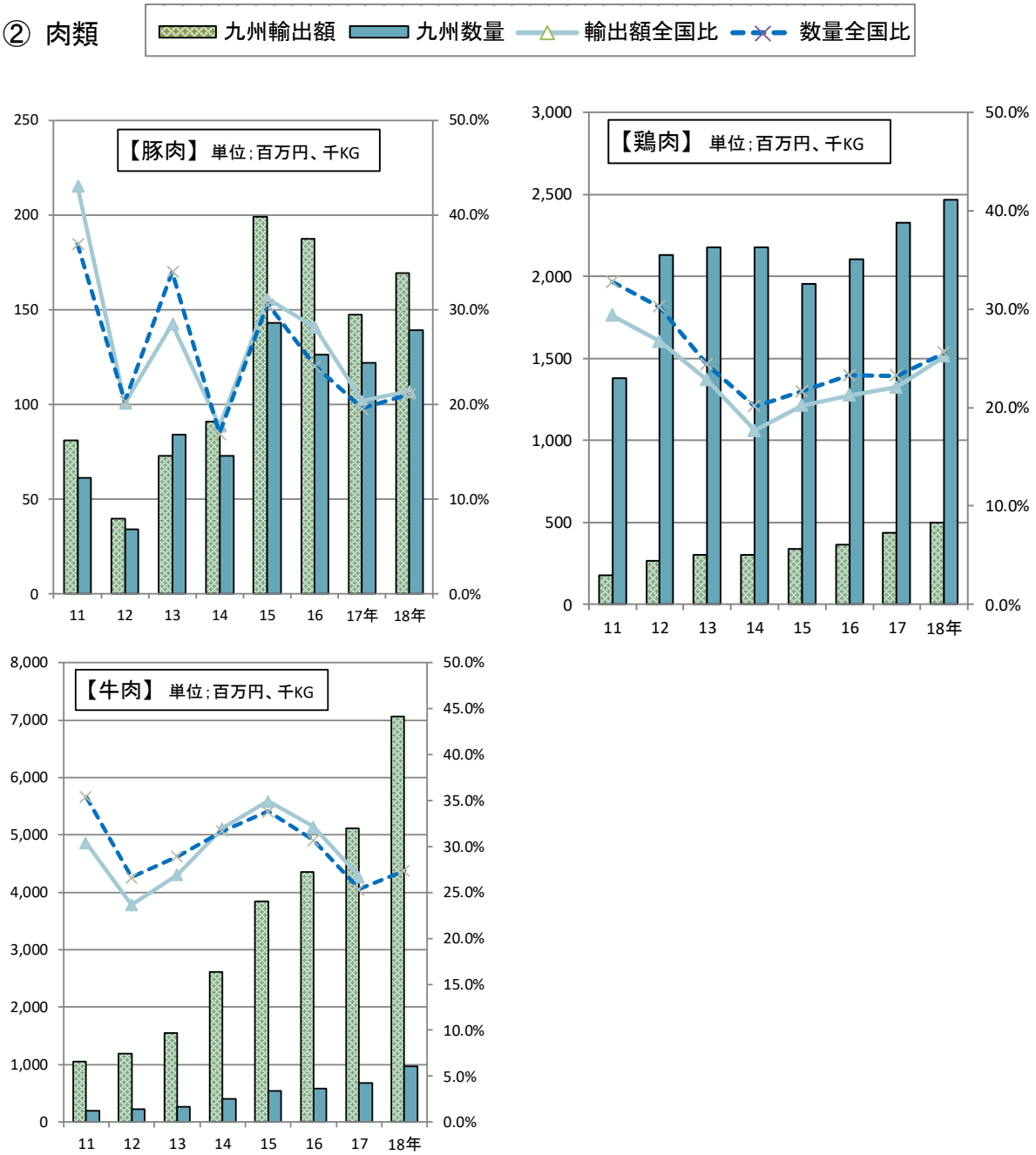
出所:(独)農研機構・野菜茶業研究所「野菜の最適貯蔵条件」を参考に作成。

海外への生鮮食料品等の流通においては、生産段階から消費段階まで低温に保ちながら流通されるしくみ「コールドチェーン」の整備が進められている。

○野菜・果実等は輸出額が毎年増加傾向。
　特に、かんしょ、ストロベリー、緑茶は輸出額の増加傾向が顕著。
○輸出額が大きい野菜・果物等はストロベリー、緑茶等
　輸出額の全国比が高いものは、かんしょ、トマト、ストロベリー等となっている。

備考:HS コードは次のとおり。【かんしょ】071420、【ストロベリー】081010、【トマト】070200、【みかん】080521、【緑茶】090210、090220、【なし】080830

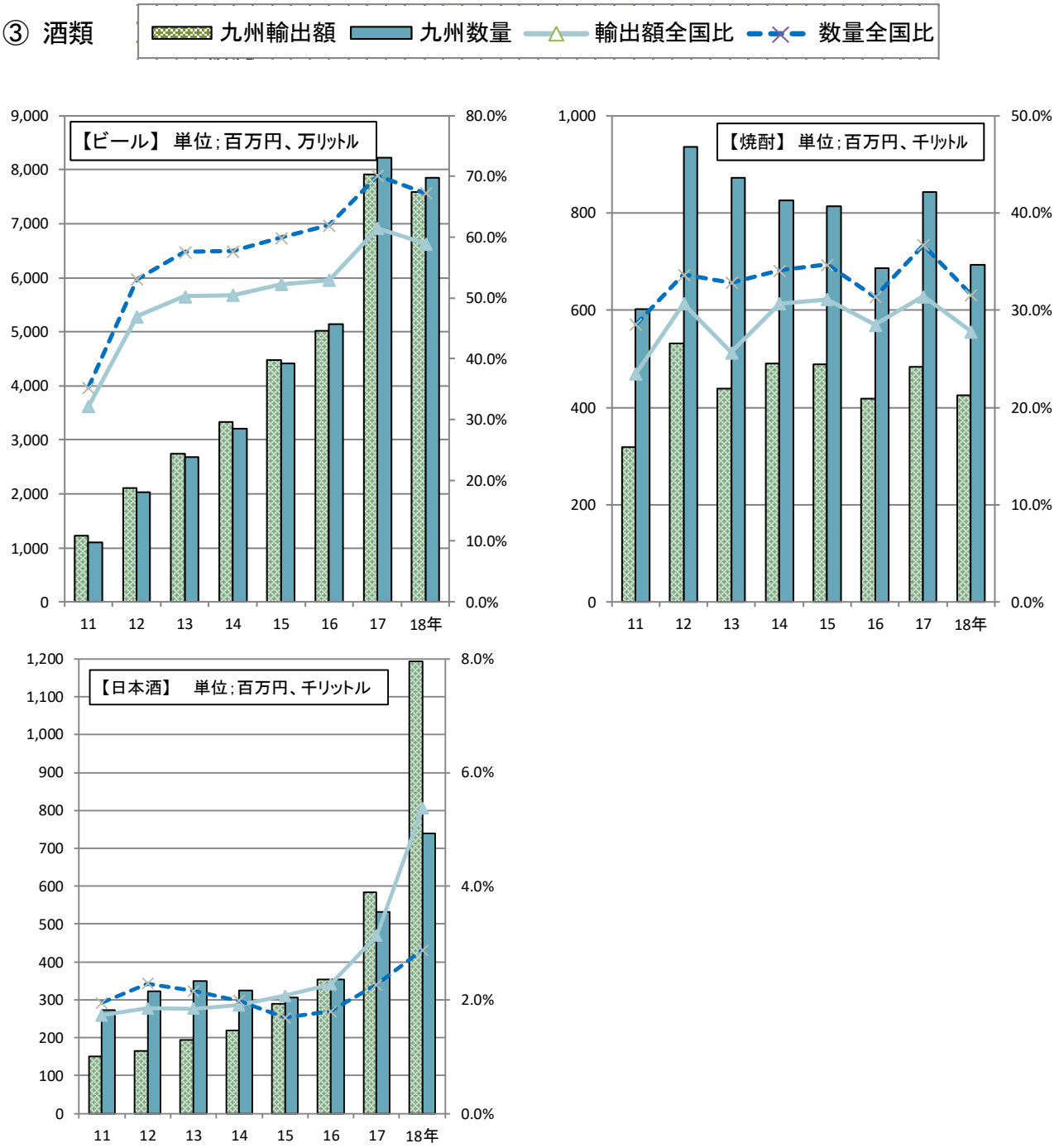
② 肉類



○牛肉の輸出額は年々増加しており、2011 年と比べて約７倍に増加。

備考：HS コードは次のとおり。【豚肉】0203、【鶏肉】020711、020712、020713、020714、
【牛肉】0201、0202、020610、020629

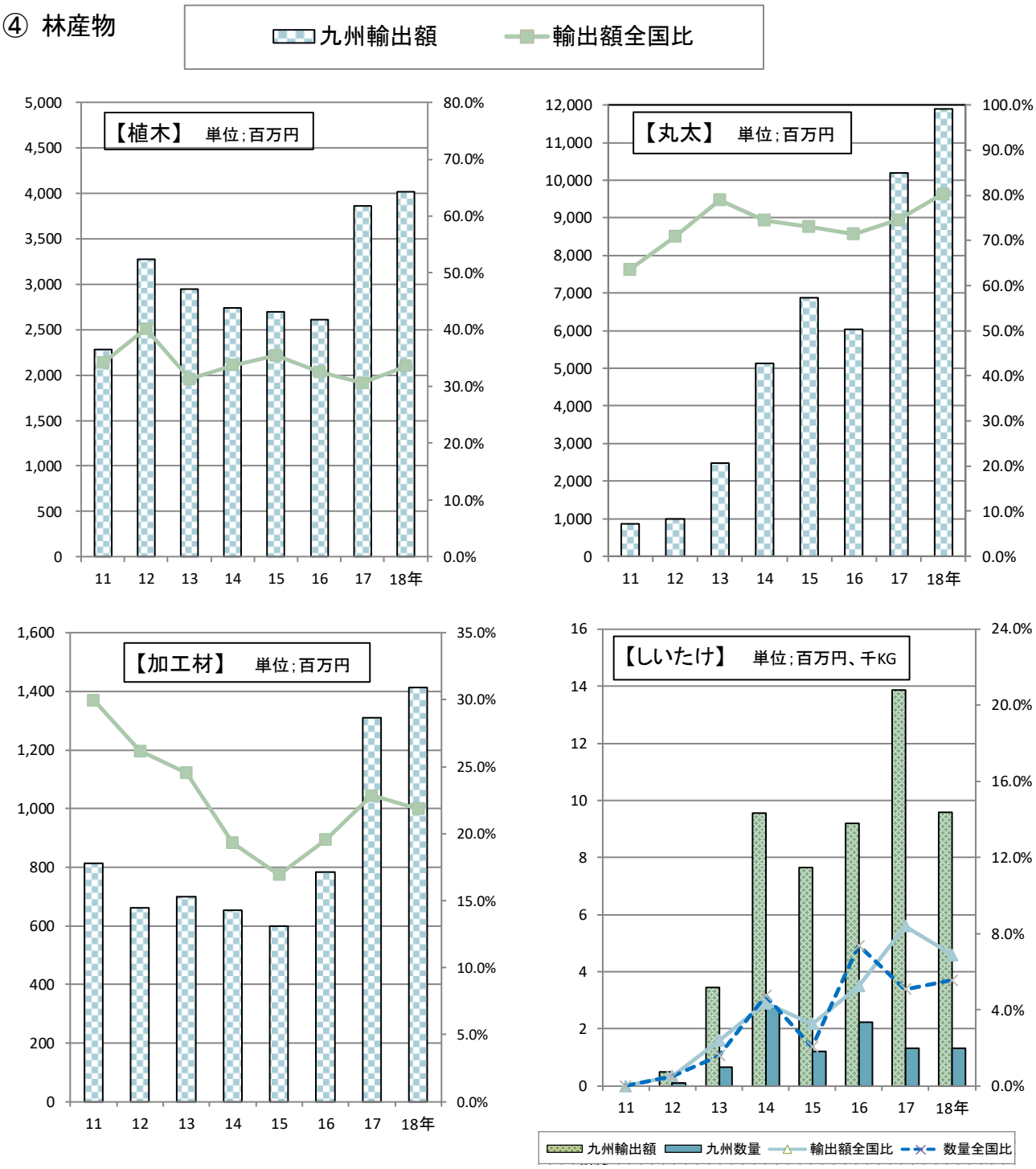
③ 酒類



○ビールは 2011 年に比べて輸出額が約７倍となっており、輸出額の全国比は約６割。
日本酒の輸出額は年々増加、特に 2018 年は前年の約２倍に伸びている。

備考：HS コードは次のとおり。【ビール】2203、【焼酎】220890100、【日本酒】220600200

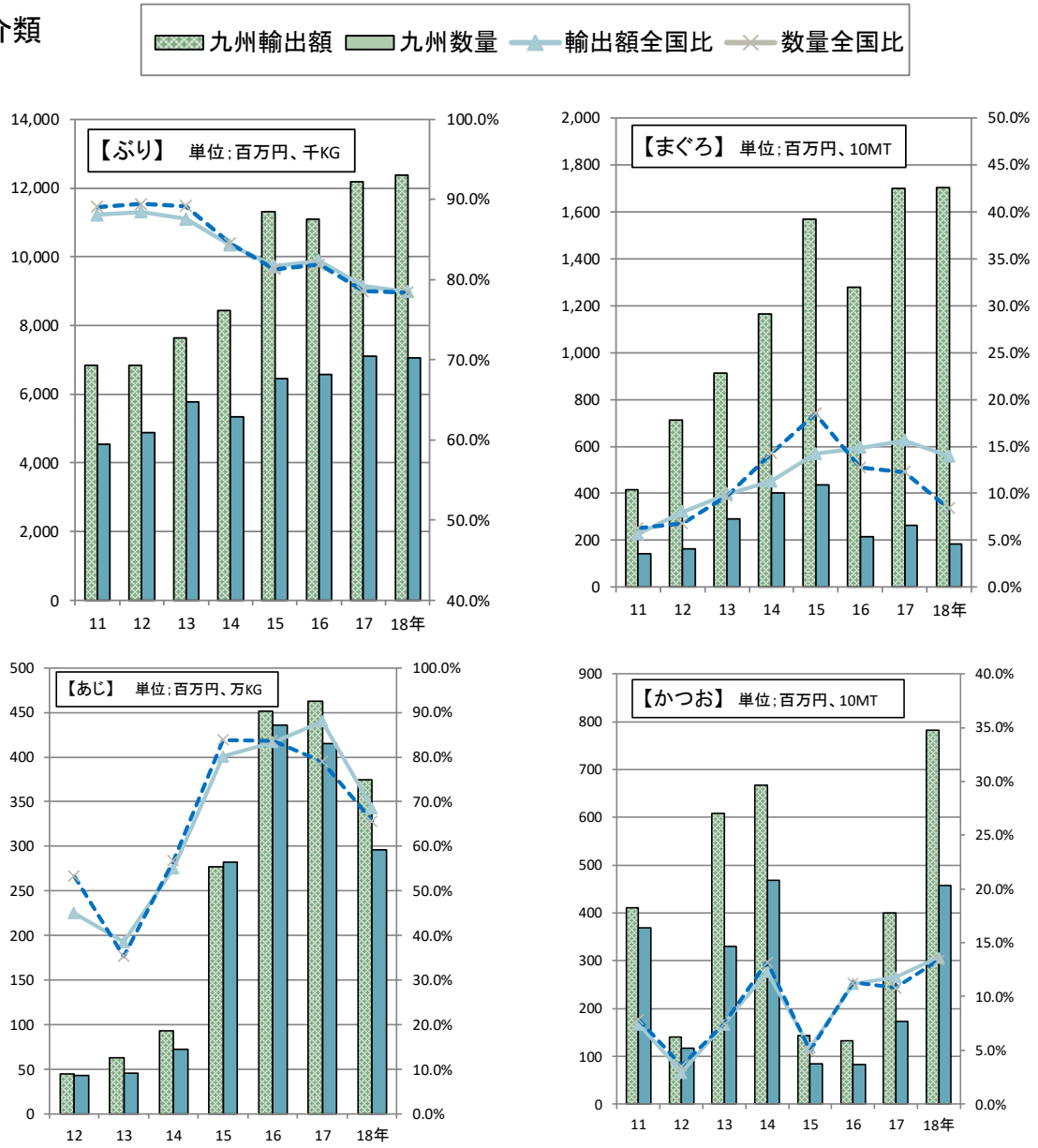
④ 林産物



○輸出額が大きい林産物は、丸太や植木。輸出額の全国比が高いのは丸太。
○丸太の輸出額について、2018 年は前年より増加し、2011 年と比べると、10 倍以上に増加。

備考：HS コードは次のとおり。【植木】060230、060240、060290100、060290900、【丸太】4403、
【加工材】4407、4409、【しいたけ】071239100

⑤ 魚介類



○ぶりの輸出額がもっとも大きく、全国に占める割合も高い。

備考：HS コードは次のとおり

【ぶり】030449200、030459200、030489200

【まぐろ】概況品 00701012

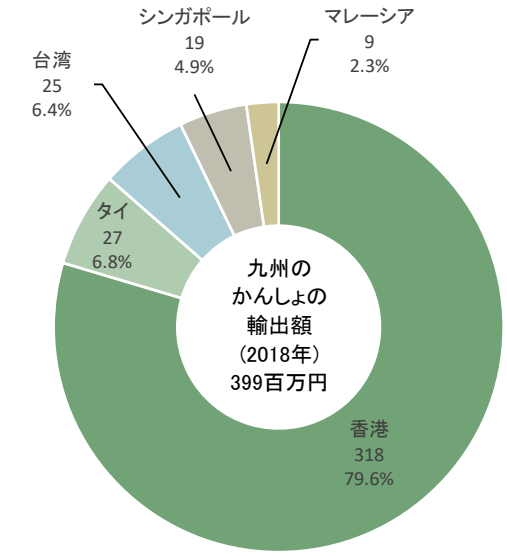
【かつお】概況品 00701011

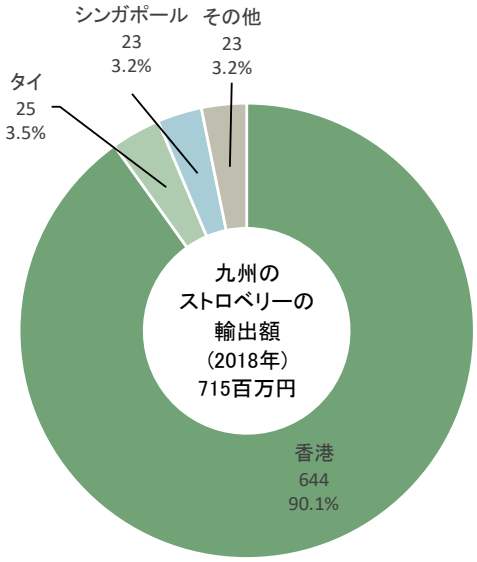
【あじ】030245、030355

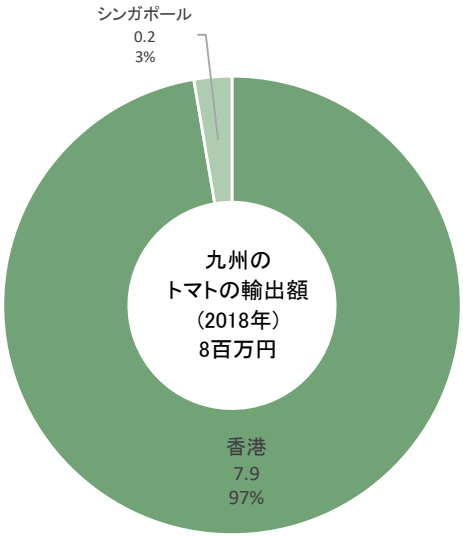
図表 3-6-2　九州の主要な農林水産物の輸出先

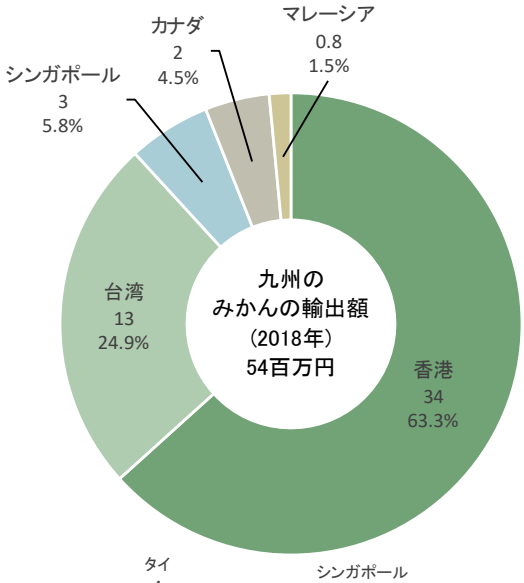
① 野菜・果物等

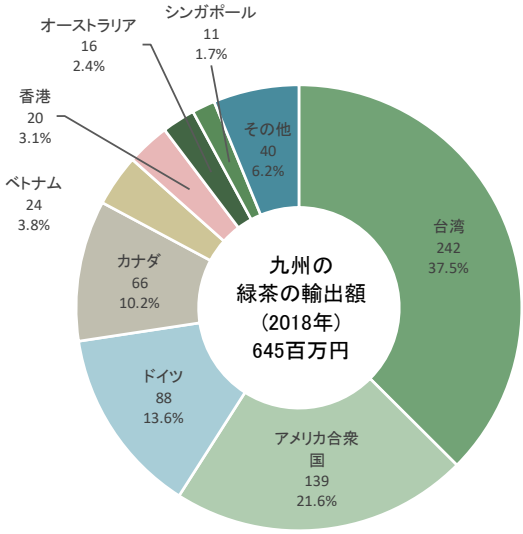
（単位：百万円、%）

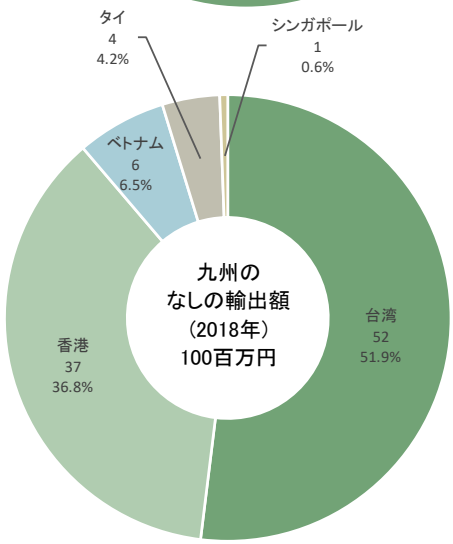








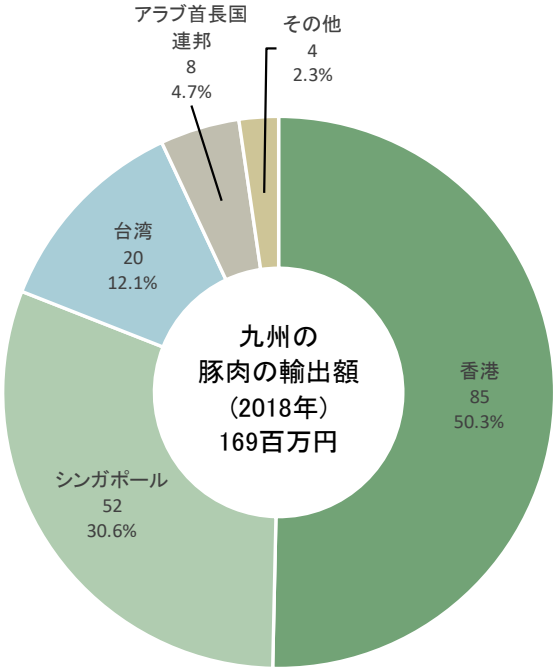


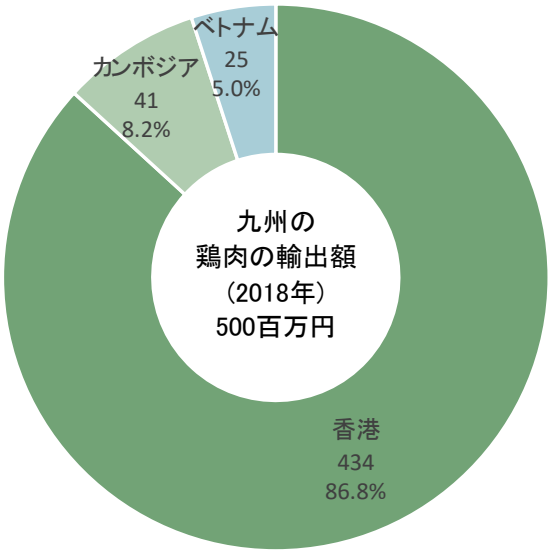


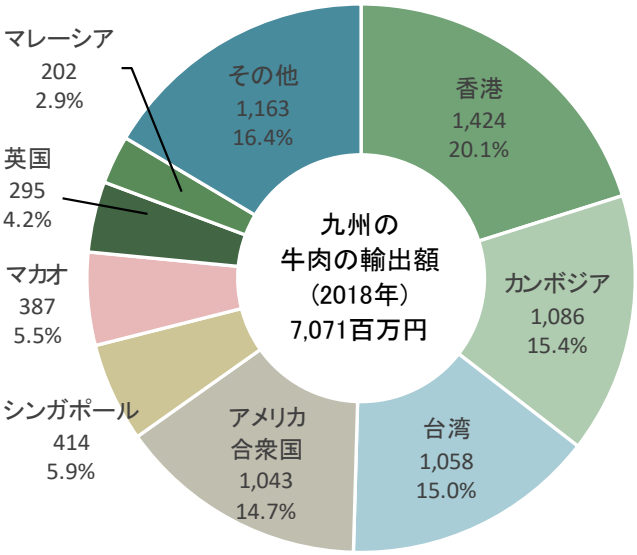
〇かんしょ、ストロベリー、トマト、みかん等多くの野菜・果物が香港向けに輸出されている。
〇緑茶、なしの輸出先は台湾が最も多い。

② 肉類

（単位：百万円、%）



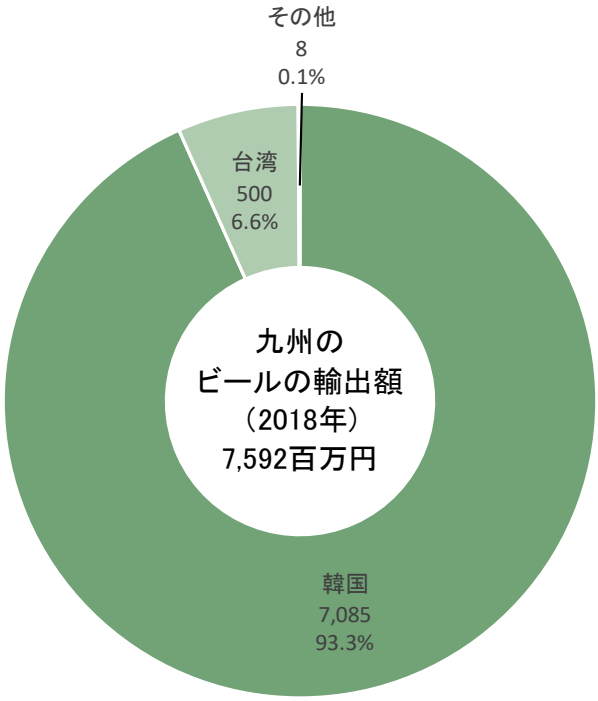


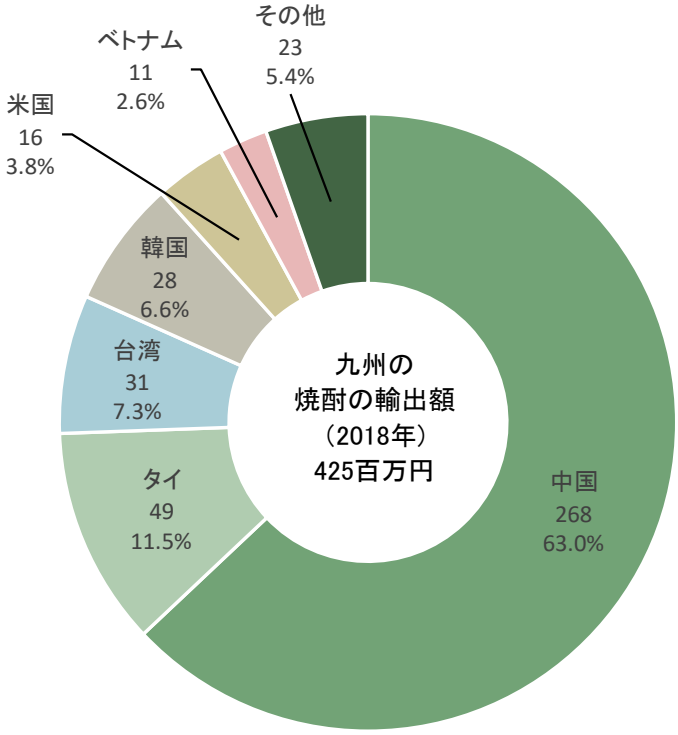


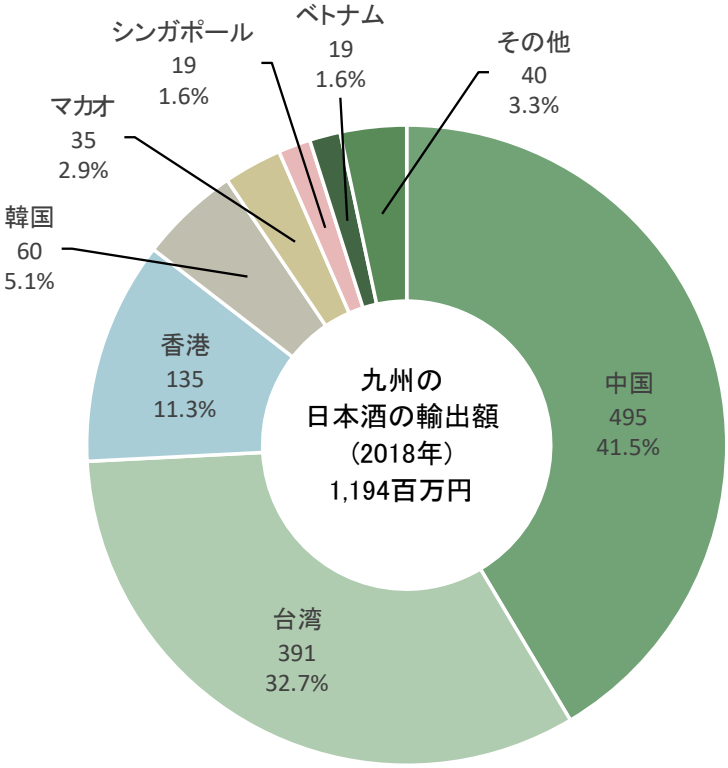
〇豚肉、鶏肉、牛肉ともに輸出先は香港が第１位である。
〇鶏肉、牛肉については、カンボジアが第２位となっている。

③ 酒類

（単位：百万円、%）



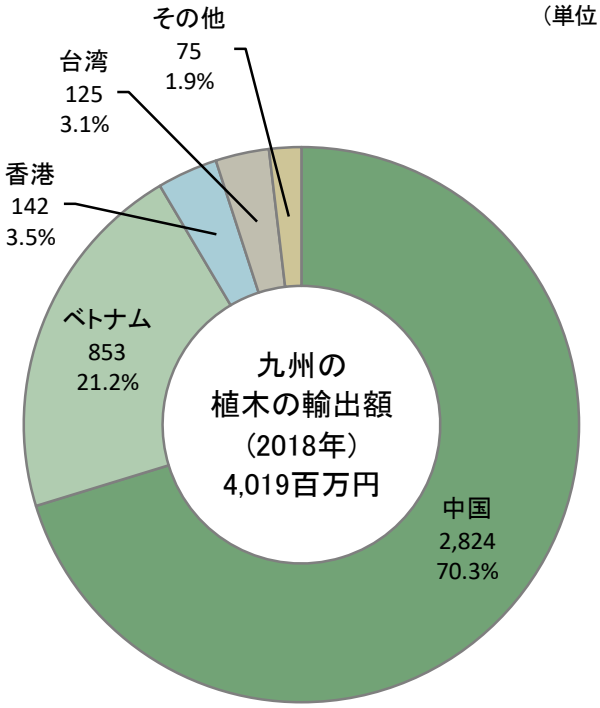


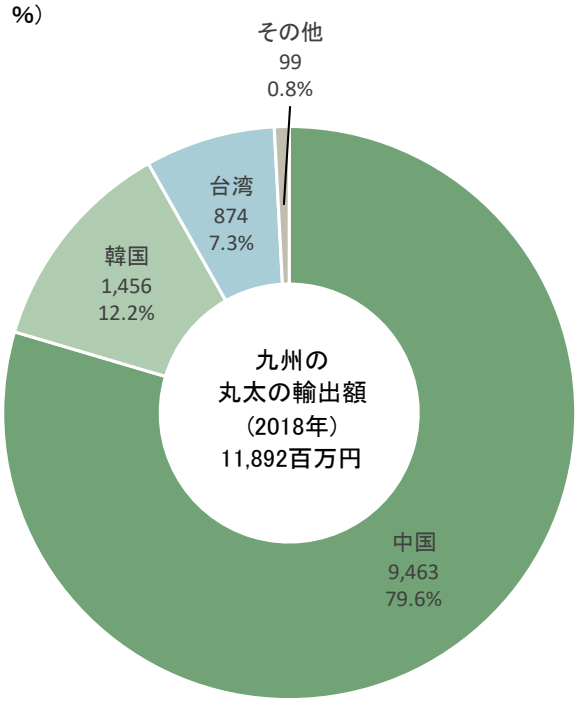


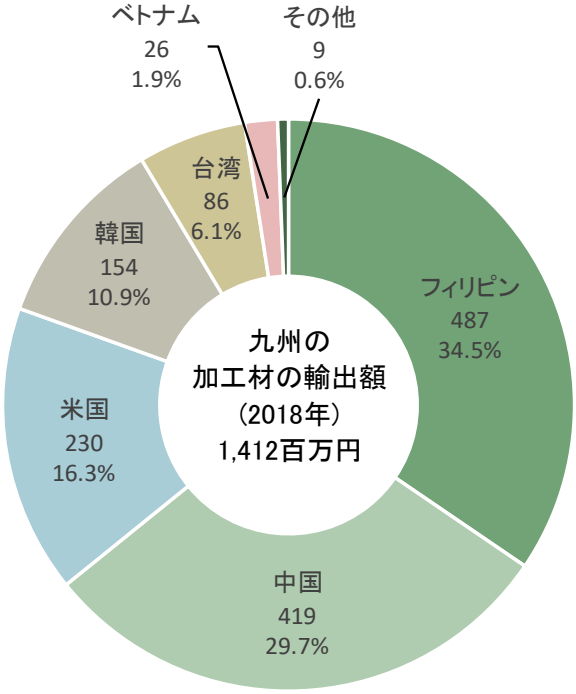
〇ビールは韓国、日本酒と焼酎は中国が最大の輸出先で、アジア向けの輸出が多い。

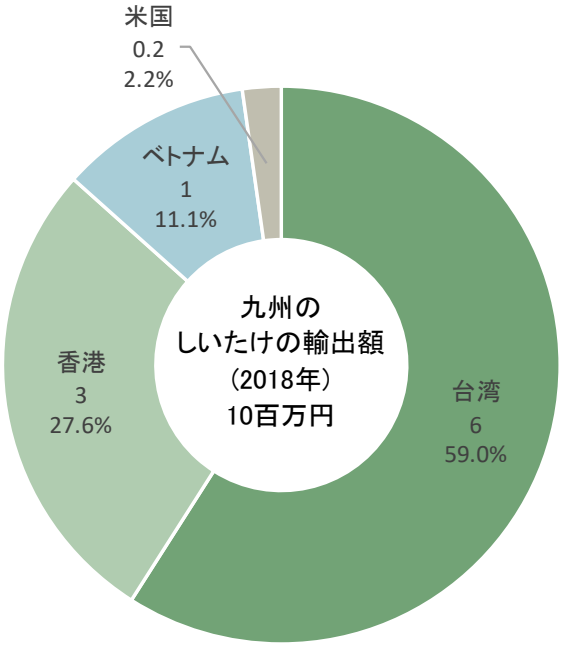
④ 林産物

（単位：百万円、%）





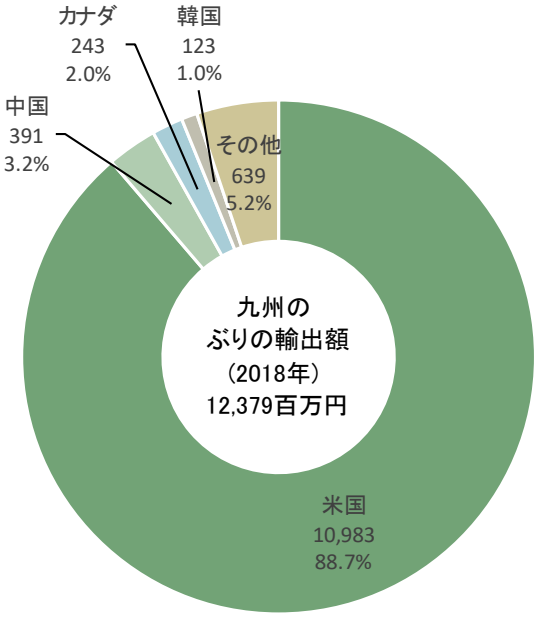


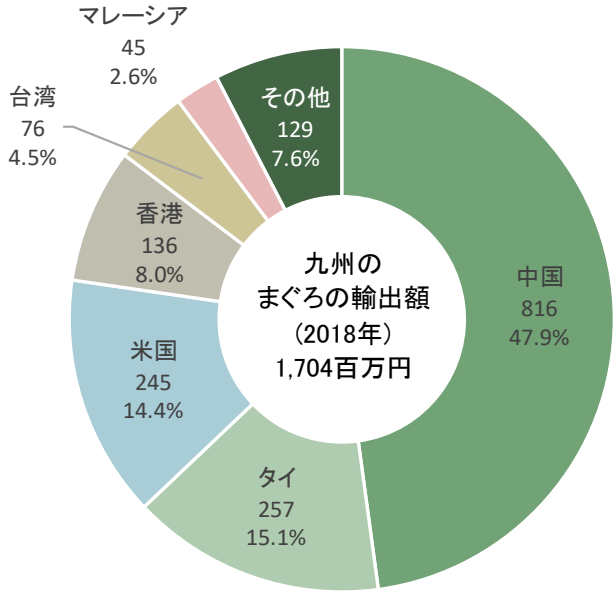


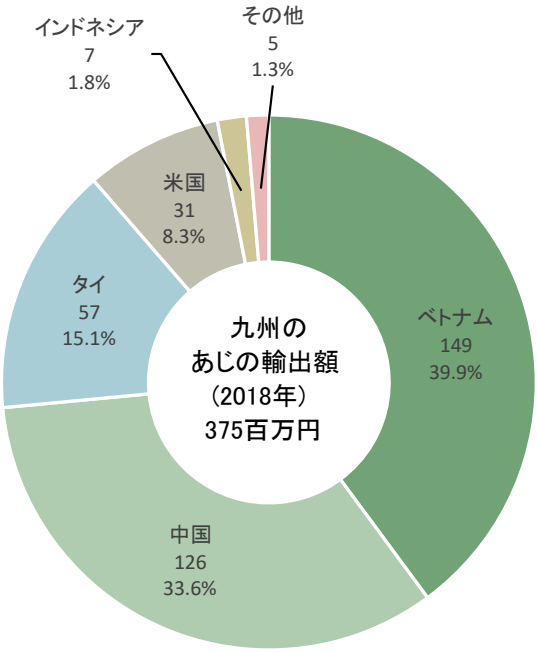
○林産物の輸出はアジア向けが大半を占めている。
　丸太及び植木は中国、加工材はフィリピン、しいたけは台湾が最大の輸出先となっている。

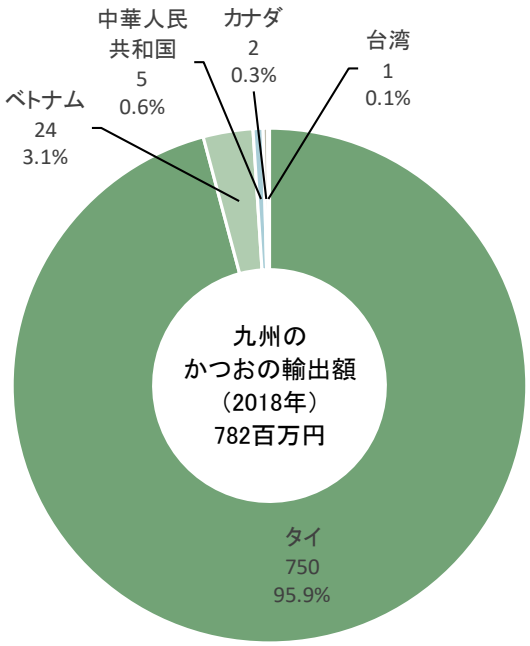
⑤ 魚介類

（単位：百万円、%）





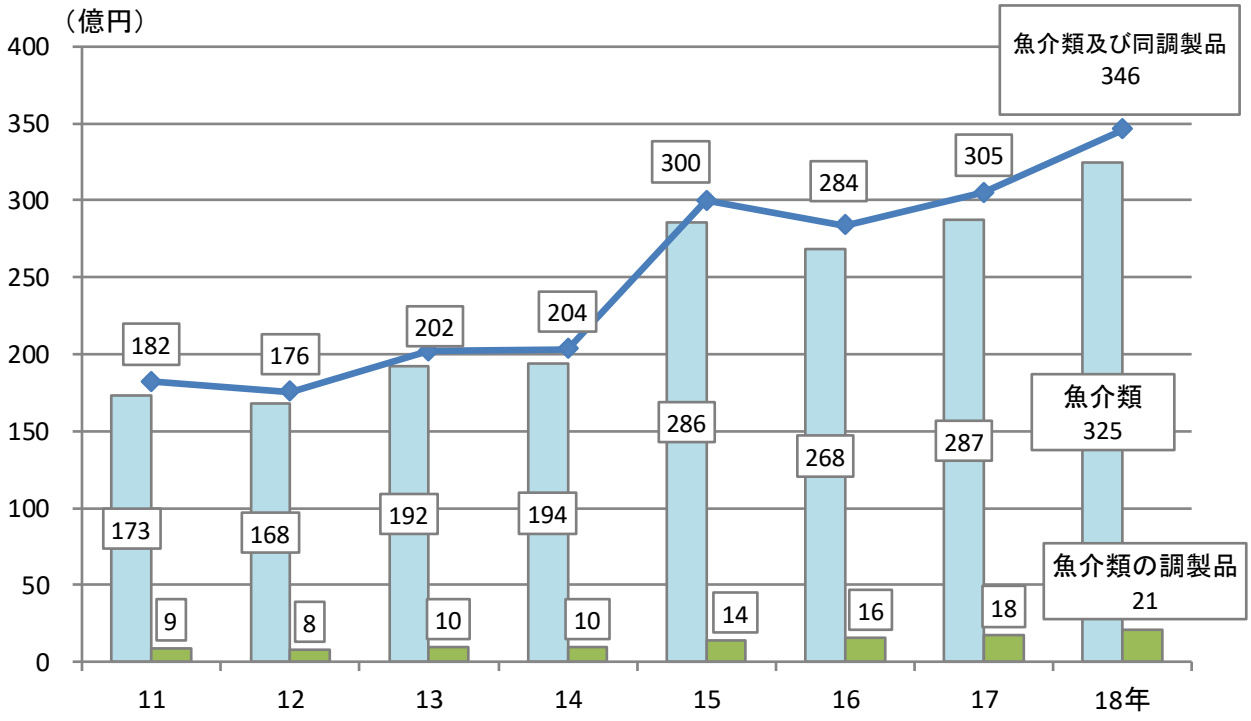




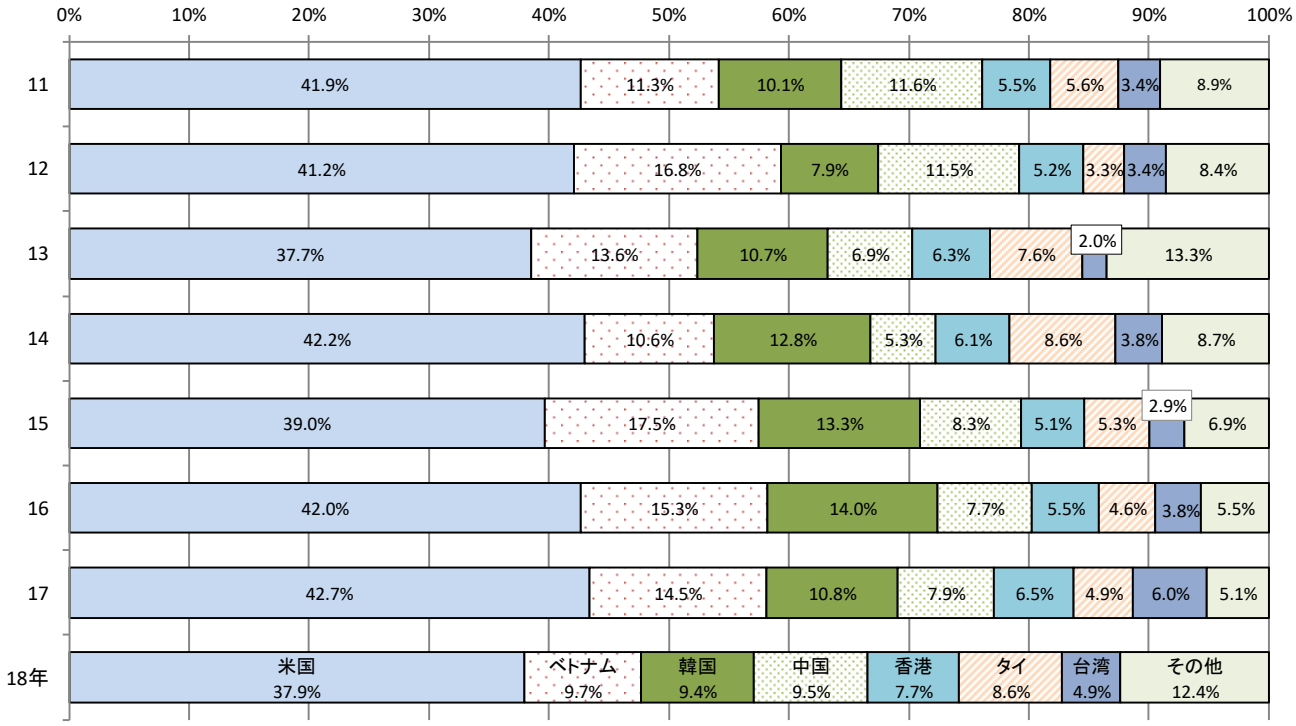
○魚介類の輸出先については、米国向けが多く、特に、ぶりについては大半を占めている。
その他、中国や ASEAN 諸国などアジアが多い。

図表 3-6-1～2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-6-3　九州の魚介類及び同調製品輸出額の推移



図表 3-6-4　九州の魚介類及び同調製品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-6-3～4 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

【トピックス】日本酒の輸出について

九州のお酒といえば、「焼酎」というイメージが強いですが、九州圏には日本酒の酒蔵が数多くあり、日本酒造りも盛んです。［福岡県 73 蔵（全国4位）、大分県 35 蔵、佐賀県 29 蔵 （※）］

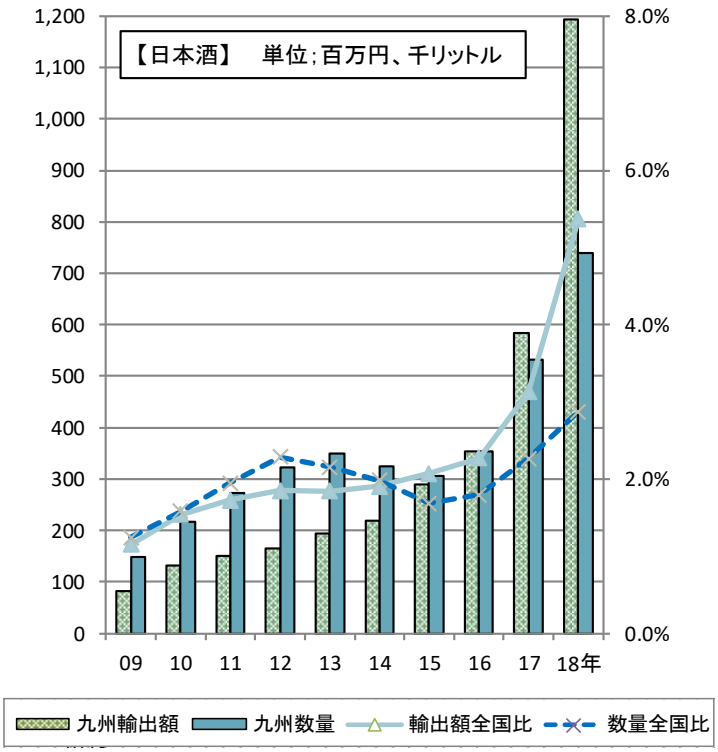
2018 年の全国における日本酒の輸出額は 222 億円（前年比 19%増）、九州からの輸出額は 12 億円（前年比 104%増）で、全国・九州ともに過去最高を記録しています。

九州からの輸出推移をみると、この 10 年で輸出額は 14.4 倍（全国は 3.1 倍）となっており、全国を大きく上回る伸びとなっています。国別輸出シェアで見ると、九州からの輸出は数量・金額ともに中国が1位となっており、アジア向けが全体の9割以上を占めています。

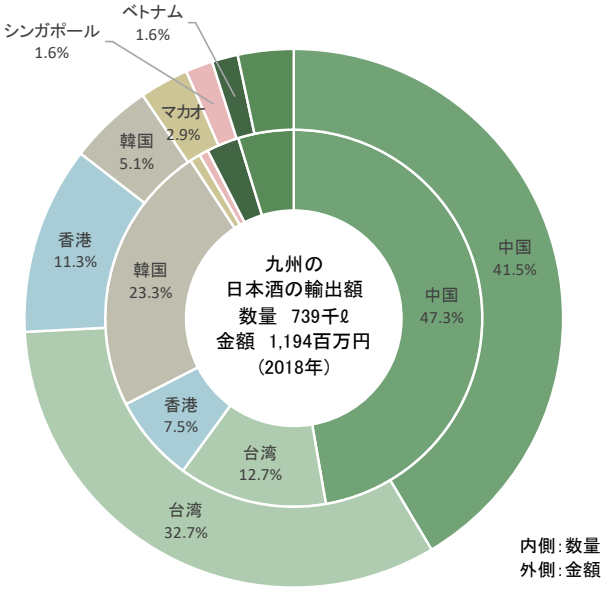
一方で、九州からの焼酎の輸出については、輸出額・数量ともに全国比 30%前後で推移しており、国別輸出シェアでは、中国が6割を超え、日本酒と同様にアジア向けが全体の9割以上となっています。

（※） 国税庁「平成 29 年度　統計年報」より

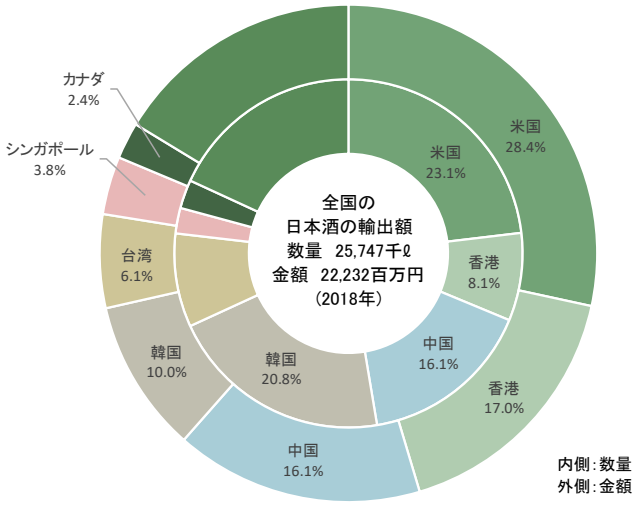
九州の日本酒輸出額の推移（2009 年～2018 年）



九州の日本酒輸出相手国（2018 年）

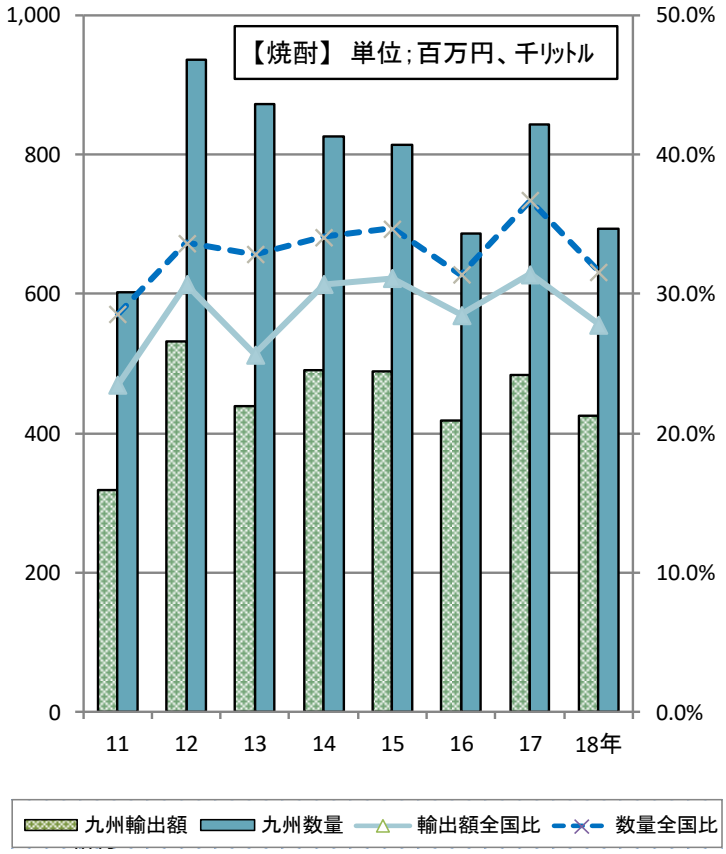


全国の日本酒輸出相手国（2018 年）

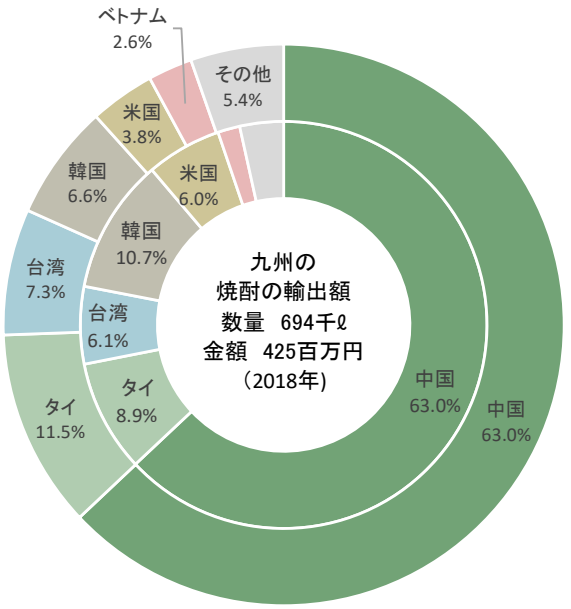


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

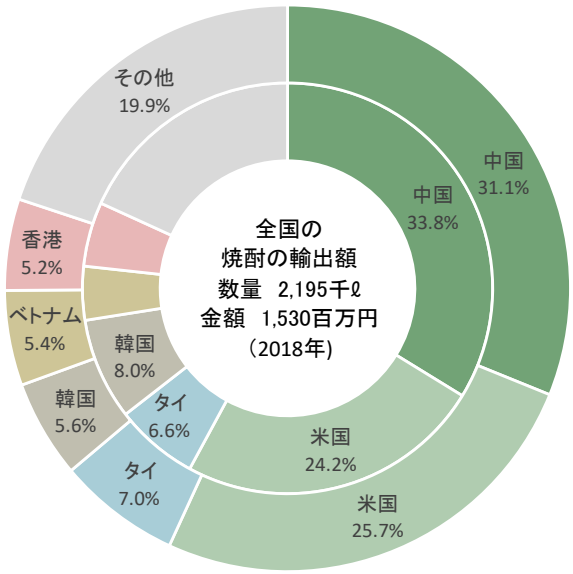
九州の焼酎輸出額の推移（2011 年～2018 年）



九州の焼酎輸出相手国（2018 年）



全国の焼酎輸出相手国（2018 年）



内側：数量

外側：金額

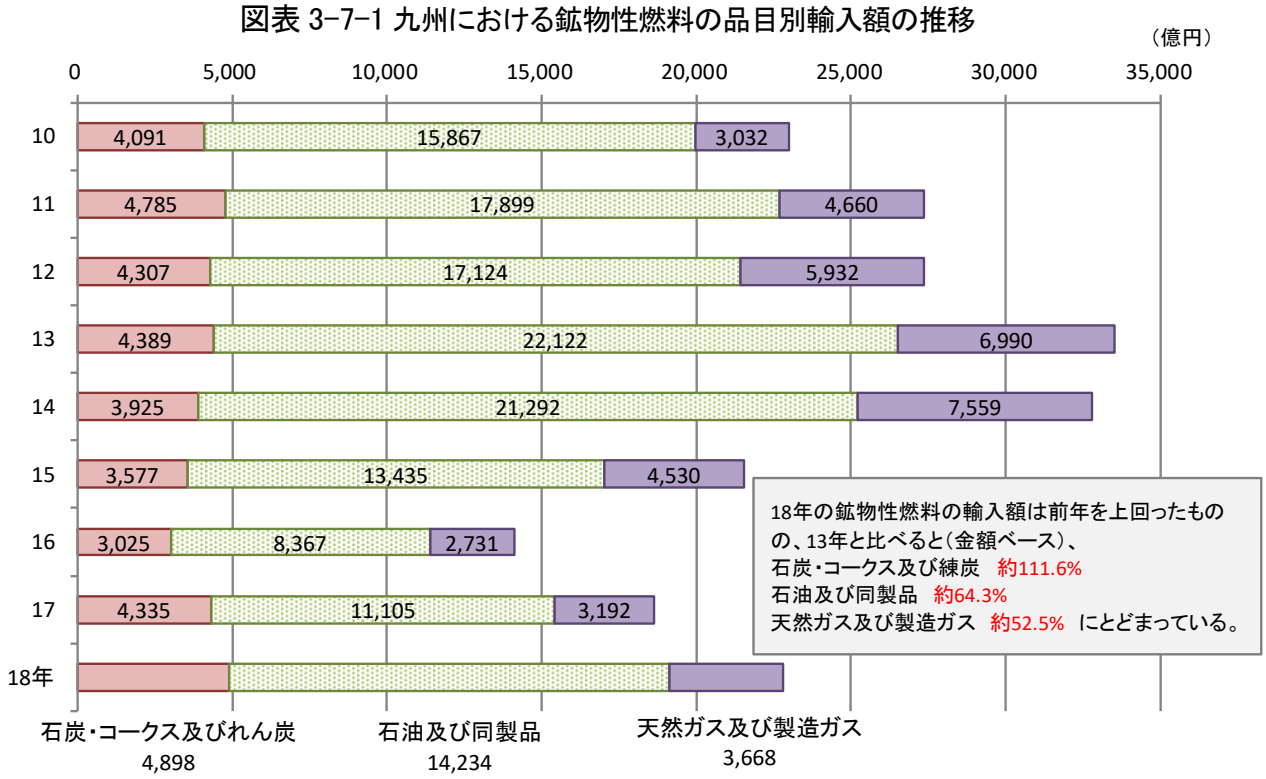
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第７章　鉱物性燃料

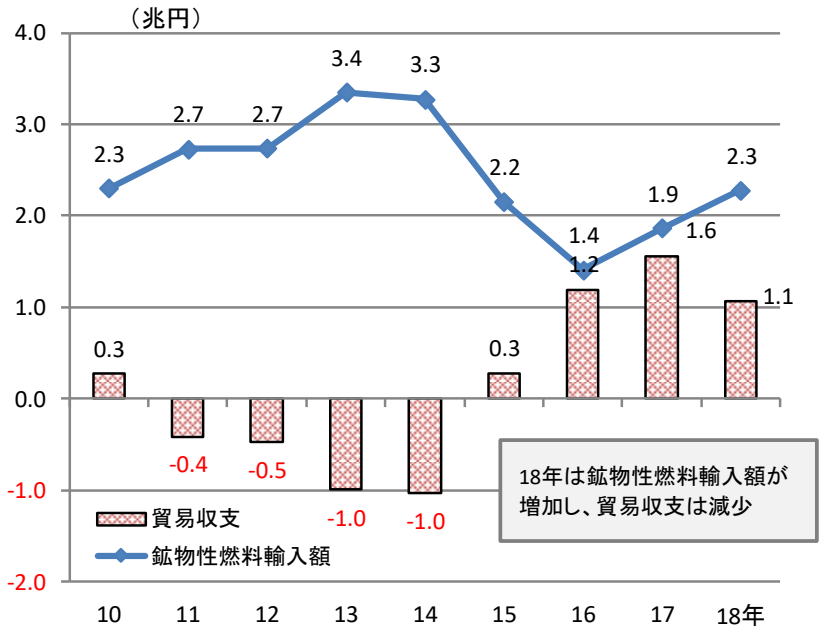
●2018 年の九州の鉱物性燃料の輸入額は、２兆２，８００億円（前年比 22.4%増）
→　４年ぶりに増加に転じた昨年に続き、２年連続の増加。品目別では、石炭・コークス及びれん炭、石油及び同製品、天然ガス及び製造ガスのいずれも輸入額が前年より増加。

★2011 年の東日本大震災以降、鉱物性燃料の需要増により、九州においても鉱物性燃料の輸入額が増加し、貿易収支は４年連続の赤字となった。その後、2015 年、2016 年は鉱物性燃料の輸入額が大幅に減少し、貿易収支は黒字に転じた。2017 年、2018 年は、資源価格の上昇に伴い、鉱物性燃料の輸入額は増加したものの、それ以上に輸出額が増加したため、貿易収支は４年連続の黒字となった。

図表 3-7-1 九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移

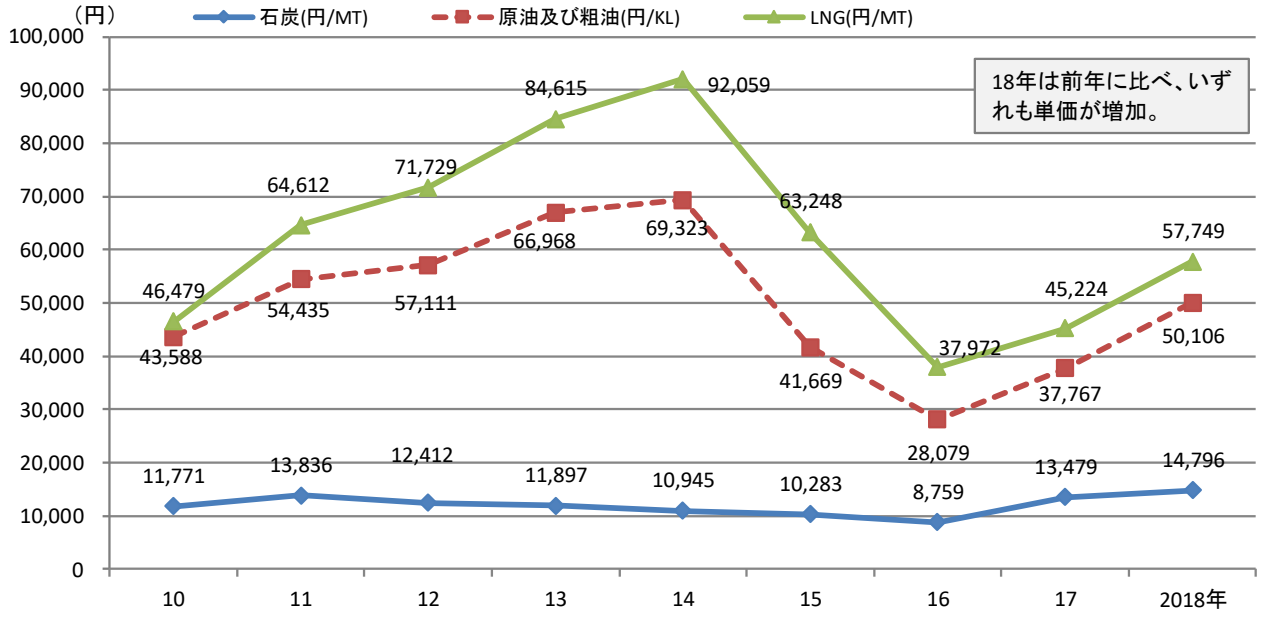


図表 3-7-2 九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



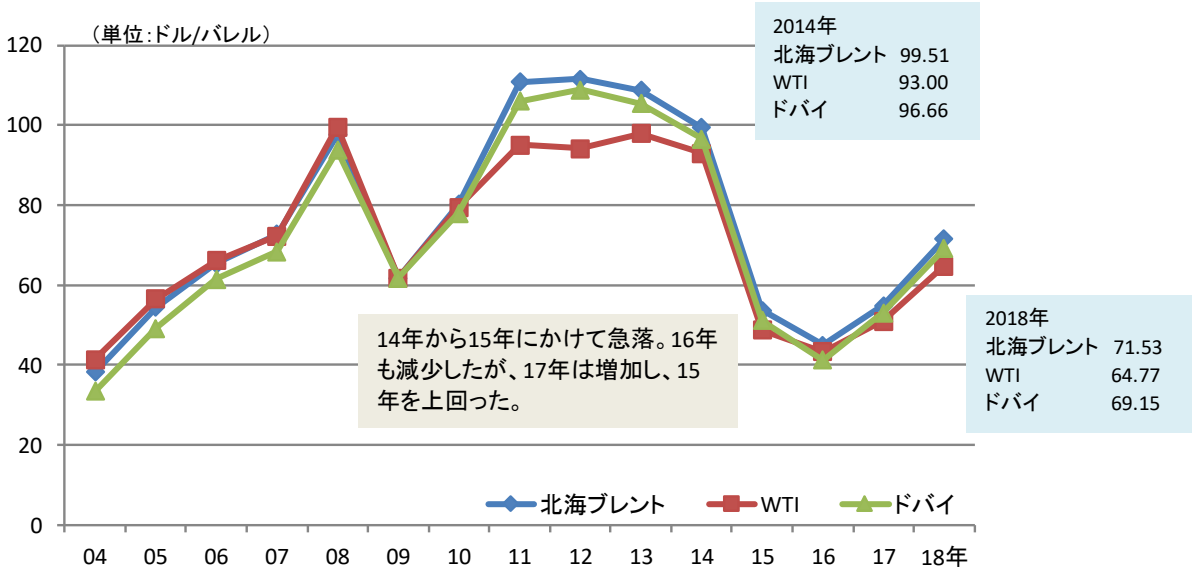
●主な鉱物性燃料（石炭、原油及び粗油、ＬＮＧ）の輸入単価をみると、石炭は 2011 年以降、緩やかに減少。原油及び粗油とＬＮＧについては 2014 年までは上昇を続けていたが、2015 年に大きく下落。2016 年もさらに下落したものの、2017 年、2018 年はすべて上昇に転じた。
●ここで、原油相場における原油価格をみると、2015 年に大幅に下落。2016 年はさらに下落したものの、2017 年、2018 年は上昇に転じた。
●なお、2018 年の主な鉱物性燃料（石炭、原油及び粗油、ＬＮＧ）の輸入数量をみると、石炭は前年より増加、原油及び粗油、ＬＮＧは前年に比べて減少。

図表 3-7-3 九州の主な鉱物性燃料の輸入単価



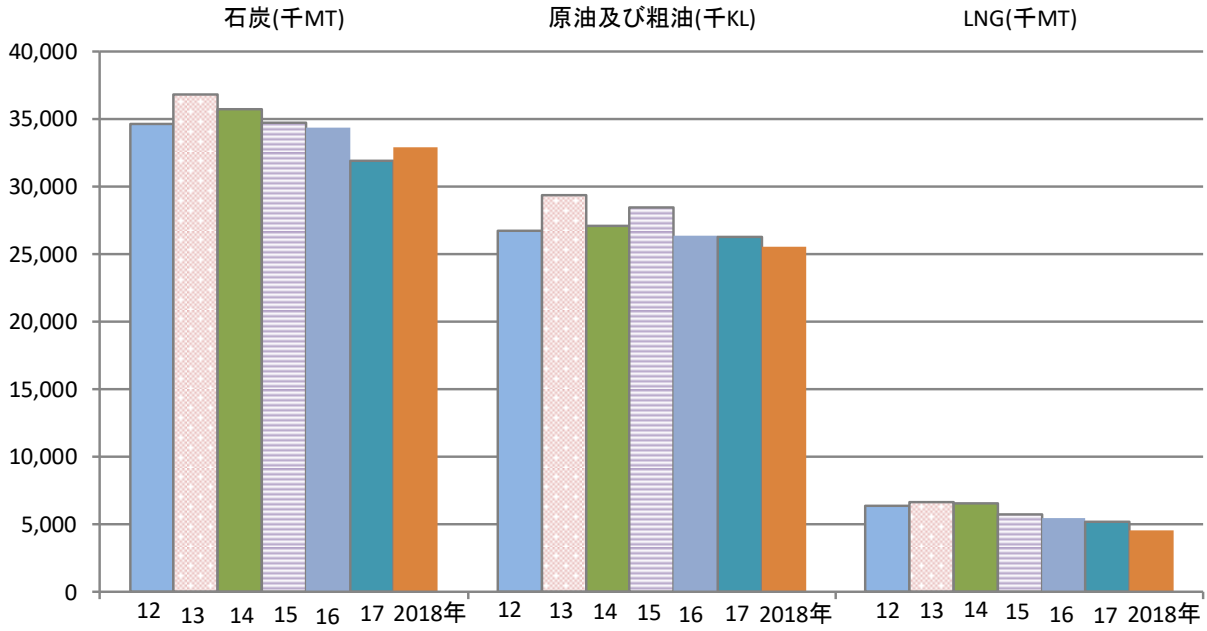
備考：それぞれの輸入単価は各年の輸入金額を輸入数量で割った値。

図表 3-7-4 原油相場における原油価格の推移

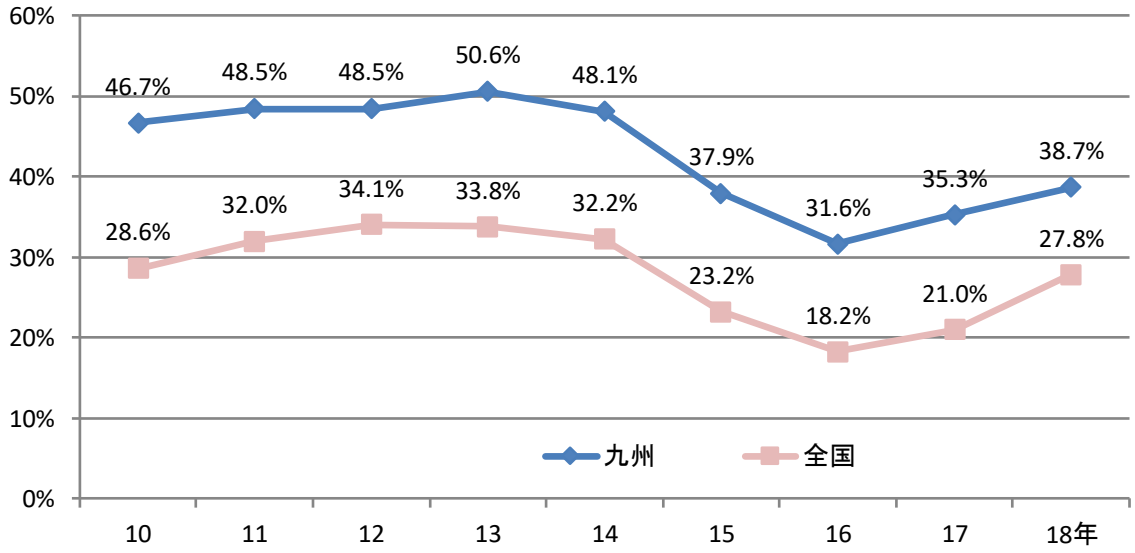


出所：内閣府「月刊海外経済データ」より九州経済産業局作成。

図表 3-7-5 九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移



図表 3-7-6 九州と全国の輸入総額に占める鉱物性燃料の割合



図表 3-7-1～6 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。